

川崎市市制100周年記念事業実施計画 「Colors, Future! Actions プラン」 改定版

COLORS,
FUTURE!
ACTIONS
KAWASAKI 100th



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

目次

- 1 計画の概要
- 2 事業推進計画
- 3 広報計画
- 4 資金計画
- 5 実施体制等

【別紙】事業一覧

1 計画の概要

- 1-1 計画の目的と位置づけ
- 1-2 計画の体系
- 1-3 基本理念
- 1-4 基本方針
- 1-5 実行委員会の設立
- 1-6 コンセプト
- 1-7 プラットフォーム:「Colors, Future! Actions」
- 1-8 プラットフォーム・ステートメント
- 1-9 15のActionテーマ
- 1-10 Actionテーマ使用イメージ
- 1-11 記念事業ロゴマーク
- 1-12 記念事業期間
- 1-13 時期ごとの目的・事業

1-1 計画の目的と位置づけ

川崎市は、大正13（1924）年に川崎町と大師町、御幸村の2町1村の合併により市制が施行して以来、令和6（2024）年7月1日に市制100周年を迎えます。

人口約5万人から始まった川崎市は、政令指定都市として6番目の人口を擁する大都市へと成長しました。京浜臨海部の一翼を担う工業都市としての発展を経て、現在では、多くの先端産業が集積するとともに、音楽・スポーツ・文化など多彩な魅力を有する活力ある都市として、今なお成長を続けています。

市制100周年という歴史的な節目に向けて、川崎市全体を盛り上げ、市制100周年記念事業を一過性のイベントとせず、「あたらしい川崎」を生み出していくため、さまざまな企業、団体、市等のオール川崎市で構成される「川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会」を令和4（2022）年9月に設立し、令和6（2024）年1月現在、370を超える企業・団体が参画して記念事業期間を迎えようとしています。

この川崎市市制100周年記念事業実施計画「Colors, Future! Actions プラン」は、記念事業を進めるにあたっての各種計画や実施される事業などをまとめたものとして、令和5（2023）年3月に策定し、準備期間の取組を推進してきました。

令和6（2024）年3月には、準備期間の取組状況等を踏まえて、記念事業の全体像や記念事業期間に実施する事業の具体的内容等を示し、多様な主体による事業の一体的・計画的な推進を図るために実施計画を改定しました。

今後は、実施計画改定版に基づき、さまざまな主体が垣根を越えて力を掛け合わせ、多様で多彩な記念事業を展開していきます。

1-2 計画の体系

川崎市策定

令和4(2022)年3月

基本的な考え方

○基本理念及び基本方針の策定

○実施期間の設定及び実施体制の構築



令和4(2022)年9月

基本計画

(Colors, Future! Actions ガイド)

- コンセプト及びプラットフォームの策定
- ロゴマークの策定
- 事業展開（15のActionテーマ）の設定



令和5(2023)年3月

実施計画

(Colors, Future! Actions プラン)

- 事業推進計画
- 実施体制等
- 広報計画
- 事業一覧
- 資金計画



令和6(2024)年3月

実施計画

(Colors, Future! Actions プラン)
改定版

- 事業推進計画
- 実施体制等
- 広報計画
- 事業一覧
- 資金計画

※準備期間の取組状況を踏まえて、記念事業の全体像とレガシーのイメージ、及び記念事業期間に実施する事業の具体的内容等を示す

川崎市市制100周年記念事業・全国緑化かわさきフェア実行委員会策定

1-3 基本理念（「基本的な考え方」より）

川崎市は、多様なバックグラウンドや価値観、能力を持つ人たちが、共に暮らし、働き、そして互いに認め合い、支え合い、高め合うことで発展してきました。

市制100周年という歴史的な節目に、先人の努力や功績に感謝し、時代とともに変貌してきた川崎市のこれまでのあゆみや歴史・文化を知り、**川崎市の発展を支えてきた「多様性」の価値を改めて共有**し、市民に「愛着」と「誇り」を持っていただく機会とします。

さらに、将来にわたって、誰もが暮らしやすい笑顔あふれる「最幸のまち」へとつなげていくため、この契機を**未来に向けた活力ある「あたらしい川崎」を生み出していく新たなスタートライン**とします。

1-4 基本方針（「基本的な考え方」より）

1. 川崎市ブランドメッセージへの共感を喚起する。

川崎市ブランドメッセージは、川崎市の多彩な魅力を一言で表現し、都市の将来像を示すものとして、平成28（2016）年に策定し、市制100周年を見据えて活用してきました。

市制100周年を「あたらしい川崎」を生み出していく新たなスタートラインとするために、ブランドメッセージに込められた「多様性を認め合い、つながり合うことで、新しい魅力や価値を生み出すことができるまちを目指していく」という意味を、「多様性」を可能性にして発展してきた川崎市の歴史を振り返りながら、**市民の共感を喚起し、改めて共有します。**

2. 新たな100年に向けて、文化として根付くムーブメントを起こす。

川崎市が誇る魅力や価値などを、市制 100 周年を契機にさらに発展させるため、**さまざまな分野において、市民、企業、団体等と協働・共創して多様なアクションを進めて全市的なムーブメント(行動)を起こし、将来のよりよい文化にしていきます。**

特に「みどり」分野については、これまでの歴史や強み等を振り返りながら市民の皆さんと一緒に考えて行動し、新たな文化を醸成するきっかけとして、**令和 6 (2024)年度に「全国都市緑化かわさきフェア」を開催し、"川崎らしいみどり"を発信します。**

3. 市民一人ひとりのシビックプライドを醸成する。

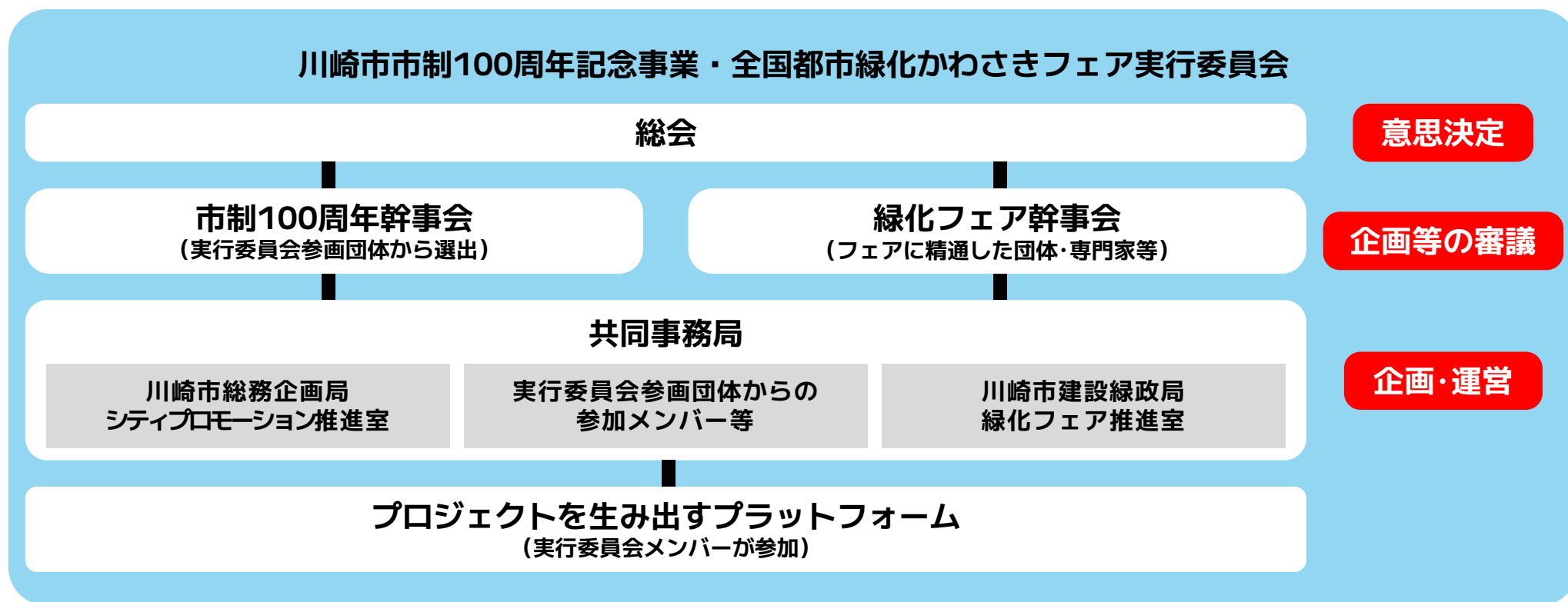
川崎市が市民にとって安心で居心地のよい場所となるよう、記念事業を川崎市が誇る魅力や価値などに触れて再認識する機会とし、**市民に参加や関わりを促すことで、シビックプライド(川崎への愛着と誇り)の醸成を図ります。**

1-5 実行委員会の設立

市制100周年という歴史的な節目に向け、オール川崎市で取組を進めるため、さまざまな企業、団体、川崎市等で構成される

「川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会」を設立しました。

市制100周年の象徴的な事業として令和6(2024)年度に開催する「全国都市緑化かわさきフェア」と合同の実行委員会とし、一体的に展開していきます。



実行委員会には「幹事会」「共同事務局」を設けます。

「共同事務局」で企画し、各幹事会で審議しながら、さまざまなプロジェクトを生み出していきます。また、実行委員会参画団体が参加する「プラットフォーム」を活用して、プロジェクトの熟度を深めていきます。

1-6 コンセプト（「基本計画」より）

川崎市ブランドメッセージに込められた意味が、

「あたらしい川崎」を生み出していくという

市制 100 周年記念事業を体現することから、

記念事業のコンセプトを

「Colors, Future! いろいろって、未来。」と決めました。

コンセプトの実行による未来の可能性の場づくりを

していくことで、さまざまな活動や価値が生まれ、

この先100年に向けた川崎市の成長の機会にします。

Colors, Future!

いろいろって、未来。

多様性は、あたたかさ。多様性は、可能性。

川崎は、1色ではありません。

あかるく。あざやかに。重なり合う。

明日は、何色の川崎と出会おう。

次の100年へ向けて。

あたらしい川崎を生み出していこう。



川崎市

1-7 プラットフォーム：「Colors, Future! Actions」（「基本計画」より）

記念事業のコンセプトを

具現化する場の設定や活動を

記念事業プラットフォーム

「Colors, Future! Actions」と総称して、

市民一人ひとり・企業・団体等が

自由に参加できる活動の場を設けます。



1-8 プラットフォーム・ステートメント（「基本計画」より）

「Colors, Future! Actions」を
さまざまな主体が一体となって推進するために、
ステートメントを設定しました。
ステートメントを通じて、
一人ひとりの好きを掛け合わせることで、
多様で多彩な「Action」を記念事業で
生み出していくための想いを共有していきます。

Colors, Future! Actions

川崎のどんなところが好きですか。

お気に入りの場所。ほっとするまちの仲間。

ひとりひとりの“好き”をつなぎ、かけ合わせて、
いっしょに川崎を育てていこう。

このまちに暮らし、このまちを発展させてきた
たくさんの人たちに感謝を抱きながら、
あたらしい川崎を未来の人たちへとつないでいこう。

いろいろな人たちが集まる川崎だからこそ、
多様で多彩なアクションを、つぎつぎと。

100年目の川崎市ではじまる Colors, Future! Actions。
“好き”があふれるまちづくりを、さあいっしょに。

1-9 15のActionテーマ（「基本計画」より）

「Colors, Future! Actions」に関わるさまざまな主体が、「より川崎がよくなる」「より川崎を好きになる」ことにつながる取組として、自分ならどんなActionができそうか企画・検討しやすくするために、「より川崎をよくする」取組の“目印”を15個示して、「Actionテーマ」として設定します。





みどりを増やすのみならず、
みどりと人の多様で
新しい関係づくり。
都市環境整備の活動など。



川崎ブランドを伝える
メディアの開発や、
新たなスーベニアの開発など。



企業支援・研究開発
(スタートアップ支援
・量子コンピューターネイティブの育成など)



ブレイキンやBMX、
スケートボードなど若者文化を
広める活動や、若者のアクションを
応援する活動。



ダイバーシティを体現する
ソウルフードの開発。
フードロスアクションの推進など。



シニア・健康・子育てなどを
応援する活動。



ナイトマルシェの開催や、夜でも
安全に楽しめるパークの整備など。



環境・臨海部に関する活動。脱炭素の
取り組みや循環型の持続可能なまちづくりに
関する取り組み。環境技術など。



フェスの開催や、地産地消マルシェの
推進、ハロウィンに続く
シンボルイベントの創出など。



健康福祉。
コミュニティへの参加や
憩いの場の創出など。



インバウンド向けの情報発信、
コト消費の開発、
在住外国人との交流支援など



文化・音楽に関する活動全般。
アートのDX 推進。
新たな表現スペースの創出など。



サッカーやバスケットをはじめとする、
スポーツに関わるもの全て。



まちの歴史探求や工場見学といった
学び体験やコンテンツなど。



防犯や地域の見守り、
災害への備えといった安全・安心のまち
かわさきへの取り組みなど。

1-10 Actionテーマ使用イメージ（「基本計画」より）

生み出されたさまざまな「Action」には、関連するActionテーマをラベリングし、テーマごとにまとめて、実行委員会公式WEBサイト等で分かりやすく発信します。

なお、市民等はラベルにより自分の興味がある Action を検索して、参加・体験することができます。

周知

- 記念事業プラットフォーム「Colors, Future! Actions」と併せて、HP・ポスター・メディア等の媒体を通じて使用イメージを周知し、市民総参加型で取組の方向性を共有する

事業企画

- 実行委員会・市民等が、「より川崎がよくなる」「より川崎を好きになる」ことにつながる取組として、自分ならどんな Action ができそうか、Action テーマを踏まえて企画・検討
 - 生み出されたさまざまな Action について、関連する Action テーマをラベリング
- ※複数のテーマが関連する Action については、一つの Action に対して複数のテーマをラベリング



発信

- さまざまな Action の周知の際に、Action テーマのラベルを配布して発信
- テーマごとにまとめ、わかりやすく発信(公式WEBサイト・パンフレット等)

参加・体験

- 市民等はラベルにより自分の興味がある Action を検索して参加・体験

1-11 記念事業ロゴマーク（「基本計画」より）

記念事業のコンセプトでもある
川崎市ブランドメッセージのロゴマークと
一体的に使用できる記念事業プラットフォーム
「Colors, Future! Actions」の
ロゴマークを制作し、
記念事業のシンボルとして広くPRします。

COLORS,
FUTURE!
ACTIONS
KAWASAKI 100th



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

1-12 記念事業期間（「基本計画」より）

令和 6 (2024)年 4 月 1 日

）

令和 7 (2025)年 3 月31日

記念事業は、市制100周年の市制記念日を含む年度である令和6(2024)年4月1日から、令和7(2025)年3月31日にかけて実施します。

それ以前についても、準備期間として、市制100周年に向けて川崎市全体の機運を高めるためのPR事業等の実施や記念事業に向けたさまざまな活動等を行ってきました。

1-13 時期ごとの目的・事業（「基本計画」より）

知って、関わって、好きになろう

記念事業期間の令和6(2024)年度だけではなく、それ以前の準備期間からも市制100周年に向けた各取組を通して、川崎市に関わる多くの方に「川崎を知って」→「記念事業に関わって、つながって」→「川崎を好きになって」いただくために、期間ごとに目的を示して事業等を展開します。

準備期間におけるPR事業やActionを特に区別して呼ぶ場合は、「プレ事業」とします。

	準備期間 / 令和5(2023)年度	記念事業期間 / 令和6(2024)年度
目的	「川崎を知ろう」	「記念事業に関わって」 →「川崎を好きになろう」
PR事業	記念事業に多くの市民が参加や参画してもらえるように、またオール川崎市で市制100周年を祝うことができるように「令和6年度に川崎市が市制100周年を迎えること、迎えるにあたっての想い」を広く周知するPRを中心に実施	多彩なActionの取組を広報し、記念事業に関わってもらうPRを実施
Action	令和6年度の記念事業実施に向けて先導していくAction (単発事業・イベントではなく、翌年度にむけて熱量をあげていくAction)	記念事業のコンセプトを踏まえた多彩なAction

2 事業推進計画

- 2-1 市制100周年記念事業に取り組む視点
- 2-2 記念事業の分類
- 2-3 プレ事業の実施状況
- 2-4 記念事業の全体像
- 2-5 実行委員会の主な取組
 - ・ 実行委員会主催のプロジェクトの実施
 - ・ 市民、企業、団体等の機運醸成
 - ・ 広報等の実施
- 2-6 市制100周年記念式典
- 2-7 全国都市緑化かわさきフェア
- 2-8 ① 実行委員会主催事業
- 2-9 ② 川崎市主催事業
- 2-10 ③ 実行委員会参画団体主催事業
- 2-11 ④ パートナー主催事業
- 2-12 「Colors, Future! Actions」の展開イメージ
- 2-13 目指すレガシー

2-1 市制100周年記念事業に取り組む視点

基本理念や基本方針、コンセプトを踏まえ、次の100年に向けた多様で多彩なActionを生み出していくにあたり、次の4つの視点により記念事業を進めていくこととします。

【視点1】 共創による社会課題の解決と未来への挑戦

市民、企業、団体等との共創により、行政だけでは解決しにくい社会課題の解決を図るとともに、川崎からはじまる新しい未来や文化を創造するきっかけとなるさまざまな可能性に挑戦します。

【視点2】 川崎を好きになる事業の展開

多くの市民が、川崎市の歴史や魅力、多様性の価値を知りながら、関わっていくことで、川崎市への愛着が次々に生まれ、「好き」があふれる川崎を生み出していくきっかけとなる事業を展開します。

【視点3】 これからの100年を担う若年層を中心とした「あたらしい川崎」を生み出す取組の展開

これからの100年を担う若年層を中心に、一人ひとりが川崎の未来を考え、川崎の未来のために行動し、「あたらしい川崎」を生み出していけるような取組を進めます。

【視点4】 市民、企業、団体等を巻き込む取組の実施

令和7年度以降の取組の活性化も見据え、実行委員会や川崎市が先導し、基本理念に賛同する市民、企業、団体等自らが、主体的に市制100周年を祝い、盛り上げていけるよう取組を進めます。

2-2 記念事業の分類

記念事業は、大きく分けて、以下の4つの事業により実施しています。それぞれの主体が連携し、関連しながら事業を展開します。

	① 実行委員会主催事業	② 川崎市主催事業	③ 実行委員会参画団体主催事業	④ パートナー主催事業
事業主体	実行委員会 (幹事会・共同事務局)	川崎市	実行委員会 参画団体等	趣旨に賛同する 市民、団体、企業等 (実行委員会非所属)
実行予算	実行委員会予算	川崎市予算	原則、各企業等の負担	市民・各企業等の負担



2-3 プレ事業の実施状況（① 実行委員会主催事業）

準備期間である令和5(2023)年度は、令和6(2024)年度の記念事業を先導するプレ事業を実施しました。

① 実行委員会主催事業としては、「Colors,Future!Summit 2023」及び「みんなの川崎祭」を初開催し、実行委員会参画団体をはじめとした多様な主体とともに、お越しいただいた市民の皆様を巻き込み、市制100周年に向けた機運を盛り上げました。

●「Colors,Future!Summit 2023」の実施

実行委員会に参画する7者の企業等で製作委員会を立ち上げ、市内3会場で川崎の未来を考える2日間のトークセッションと市内各地で開催された地元で人気のイベント17か所をデジタルスタンプラリーで繋ぎ、川崎の魅力を再発見いただく、回遊型フェスティバルを組み合わせた「Colors,Future!Summit 2023」を開催し、19のトークセッションで、合計約1,400人来場いただきました。

開催期間 令和5(2023)年11月5日(日)～11月26日(日)

- ・フェスティバル 11月5日(日)～26日(日) 22日間
- ・カンファレンス 11月17日(金)・18日(土) 2日間

●「みんなの川崎祭」の実施

市役所通りの車道を活用し、ウォーカブルなまちを体験いただくイベント「みんなの川崎祭」を初めて開催し、音楽・スポーツ・アートなどの川崎の魅力を集結したステージや飲食・休憩スペースを設置、約40,000人来場いただきました。

開催日時 令和5(2023)年11月5日(日)

会場

- ・市役所通り（旧東海道から国道15号までの本庁舎側の道路空間）11:00～16:00
- ・稲毛公園（川崎区宮本町7-8）11:00～21:00
- ・カワサキ文化会館（川崎区駅前本町21-12 川崎第3京急ビル）13:00～17:00



2-3 プレ事業の実施状況（② 市主催事業）

② 市主催事業としては、各局区が所管する施策・事務事業に取り組む中で、記念事業を見据えたプレイベントや既存のリソースを活用した市制100周年の周知など、各局区において主体的にプレ事業を実施し、さまざまな施策分野において、市制100周年のコンセプトを踏まえた取組を実施するとともに、その機運醸成を図りました。

実施事例

●インクルーシブ音楽プロジェクト 「いろいろねいろ」の実施



市制100周年を契機として、音楽を通じて多様性を楽しみながら感じることができるプログラムとして、「インクルーシブ音楽プロジェクト」を実施しました。

「いろいろねいろ」をキーメッセージとして、体験ワークショップや公開ライブなど、多くの市民の皆様がインクルーシブ音楽に触れる活動を展開しました。



イベントの様子

●市制100周年の機運を高める「なかはらコアまつりプレイベント」の開催



8月26日に、武蔵小杉駅周辺のこすぎコアパーク、市道小杉町21号線、コスギ サード アヴェニュー サウスパークで「なかはらコアまつりプレイベント」を開催しました。

約14,000人の方に来場いただいたこのイベントでは、市制100周年の特別企画として、区民やプロ楽器奏者など約100人での合奏、市道小杉町21号線での盆踊りなどを実施しました。



盆踊りの様子

●キングスカイフロントOPEN DAYを開催



市立中学校が休みである10月10日の「かわさき家庭と地域の日」に、これからの社会を担う中学生を対象に、「殿町国際戦略拠点キングスカイフロント」を知り、魅力を感じてもらうことを目的として、施設見学イベントを開催しました。

エリアに立地する企業からの事業内容の説明や研究所での体験、水素バス「SORA」の乗車体験など、参加した中学生にライフサイエンス分野における世界最先端の研究開発を感じていただきました。



施設見学の様子

2-3 プレ事業の実施状況（③ 実行委員会参画団体主催事業、④ パートナー主催事業）

市制100周年をきっかけとしたさまざまな企業・団体や市民の皆様の主体的なアクションを生み出すため、実行委員会において市制100周年への関わり方などに関する説明会・共創を促進する交流会を実施するなど、実行委員会参画団体の主体的な取組を促進するとともに、市民、企業、団体等の「Colors, Future! Actions」への参加を促進しました。

●事業登録の実施

令和5(2023)年9月から、③ 実行委員会参画団体主催事業及び④ パートナー主催事業の登録を開始しました。

募集期間：令和5(2023)年9月1日～令和7(2025)年3月31日

登録方法：市制100周年記念事業公式WEBサイト 登録フォーム

登録事業は、公式WEBサイトに掲載し、取組をPRするとともに、より記念事業のコンセプトに合致した事業は、メールマガジンや各種広報媒体による周知、総会の場での発表など、積極的にPRしました。

●説明会・交流会の開催

令和5(2023)年9月、約350の実行委員会参画団体を対象に、川崎市内3か所において説明会を開催しました。事業概要や関わり方、提案型募集事業の説明会を実施するとともに、共創を促す参画団体同士の交流会を合同開催し、174人が参加しました。「市で活動する方々を中心に、さまざまな業種の方と知り合うことができ、良い機会になった」などの声をいただくなど、共創に向けた交流を促進しました。



説明会の様子



交流会の様子

●登録事業数（令和6(2024)年3月19日現在）

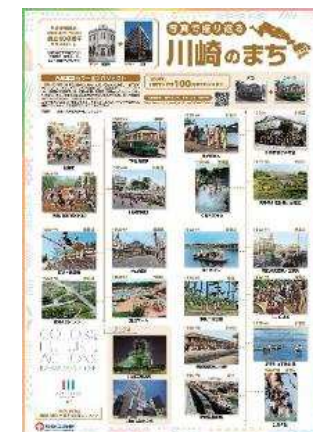
③ 実行委員会参画団体主催事業：59事業

④ パートナー主催事業：26事業

●③ 実行委員会参画団体主催事業の例



←川崎日航ホテルによる、川崎産の食材を使い、川崎市のカラーをイメージして作ったスイーツおせち



川崎信用金庫による、市制100周年を記念した、川崎のまちを写真で振り返るカレンダーの作成→

●④ パートナー主催事業の例



グリーンバード川崎駅チームとスターバックスコーヒー 川崎地区のパートナー同士による、市制100周年に向けて100人で行う清掃活動



アルテリッカ新ゆり美術展実行委員会による、市制100周年プレ美術展

2-4 記念事業の全体像

準備期間である令和5(2023)においては、市制100周年のコンセプトを共有するさまざまな広報を展開するとともに、プレ事業として多様な主体とさまざまな事業を展開しながら、市制100周年の機運醸成を図ってきました。

記念事業期間である令和6(2024)年については、こうした令和5(2023)年度の実施により醸成された機運やプレ事業での取組結果を活かしながら、記念事業のコンセプトを踏まえた多彩な事業を展開していきます。

記念事業を進めるにあたり、市制100周年記念事業に取り組む視点を踏まえ、大きく3つの時期に分け、テーマと「取組の核」を設けます。

「取組の核」として、それぞれ「市制100周年記念式典」、フェス&カンファレンス「Colors,Future!Summit」、「全国都市緑化かわさきフェア」の秋開催及び春開催を位置付け、取組の核を中心にそれぞれの取組を有機的に連携させながら、年間を通じて、市域全域でさまざまな事業を展開していきます。



2-4 記念事業の全体像

取組の核を中心に、実行委員会が主催するプロジェクトや、市の各施策の中で取り組む+αのチャレンジ、実行委員会参画団体をはじめとした自主的なActionを実施するとともに、それぞれが有機的に連携しながら年間を通じて市制100周年を盛り上げていきます。

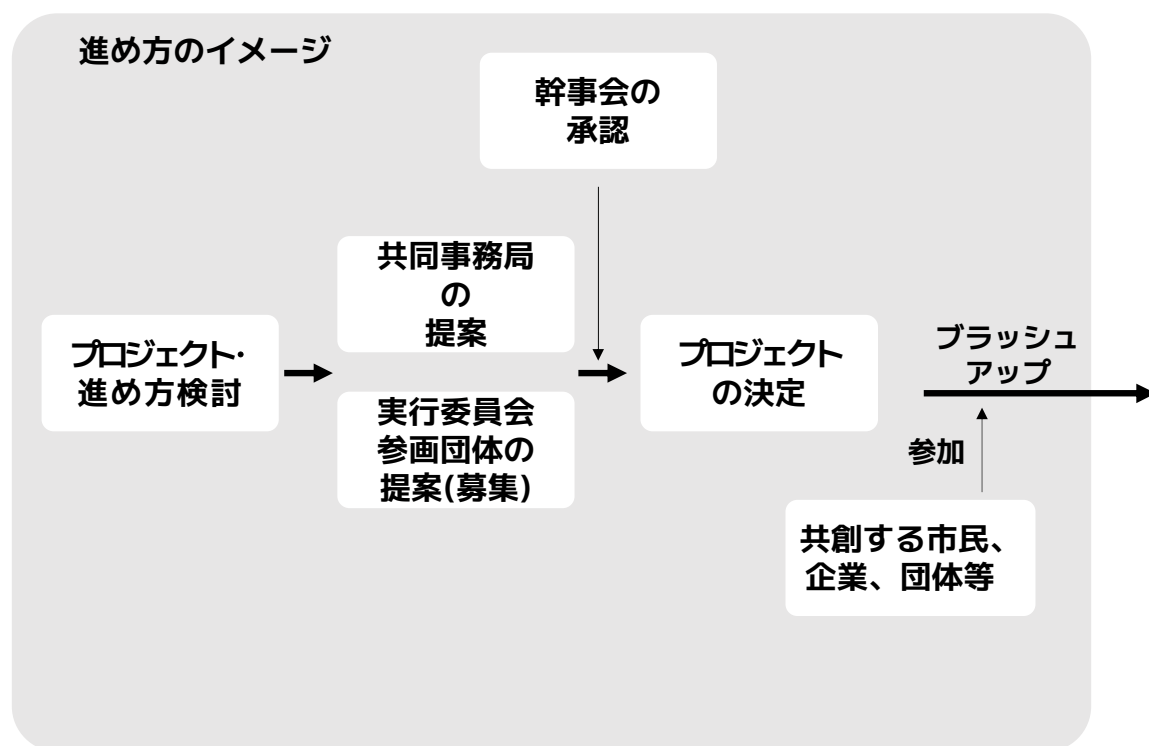


2-5 実行委員会の主な取組（実行委員会主催のプロジェクトの実施）

実行委員会が主体となり、「Colors, Future! Actions」を体現する事業を実施します。

共同事務局を中心に、実行委員会参画団体とも連携し、さまざまなプロジェクトを検討・実施していきます。

市民、企業、団体等と共創しながら官民連携で事業を推進し、あたらしい川崎の可能性に挑戦する取組を展開していきます。



	取組中のプロジェクト名
1	フェス&カンファレンス 「Colors,Future!Summit」
2	公共空間を活用した賑わい創出プロジェクト 「みんなの川崎祭」
3	等々力緑地全体を活用した 共創・賑わい創出プロジェクト 「かわさき飛躍祭」
4	脱炭素プロジェクト
5	音楽プロジェクト
6	みどりの共創プロジェクト
7	提案型事業

2年間の想定事業費	
令和5(2023)年度	令和6(2024)年度
約3,500万円	約1億6,500万円

2-5 実行委員会の主な取組（市民、企業、団体等の機運醸成）

説明会や交流会などを開催し、実行委員会参画団体の主体的な取組を促進するとともに、市民、企業、団体等の「Colors, Future! Actions」への参加を促します。

実行委員会では以下の取組を進めます。

- ・「Colors, Future! Actions」を促す説明会や交流会などを開催します。
- ・市制100周年記念事業公式WEBサイトやニュースレターなどによる、さまざまな効果的な情報発信を行います。
- ・市民、企業、団体等が参加・発表し、誰もが楽しめる場として、「フェス&カンファレンス」を企画・実施しました。

※令和5(2023)年度は、フェス&カンファレンスとして「Colors,Future!Summit」を① 実行委員会主催事業と機運醸成の取組を兼ねて実施しましたが、令和6(2024)年度は、「Colors,Future!Summit」を① 実行委員会主催事業として実施します。



説明会や交流会の開催



公式WEBサイト情報発信

2年間の想定事業費	
令和5(2023)年度	令和6(2024)年度
約2,500万円	約500万円

2-5 実行委員会の主な取組（広報等の実施）

実行委員会が主体となって、協賛企業ロゴ入りポスター、情報発信の旗艦である「市制100周年記念事業公式WEBサイト」の運営、ニュースレターなどの定期的な発信、さまざまな媒体を通じた記念事業の広報により、市民、企業、団体等の認知・理解を図り、「Colors, Future! Actions」への参加を促します。



協賛企業ロゴ入りポスター



公式WEBサイトの運営



ニュースレターの発行

2年間の想定事業費	
令和5(2023)年度	令和6(2024)年度
約4,500万円	約7,500万円

2-6 市制100周年記念式典

市制100周年という歴史的な節目に、市民の皆様とともに祝い、次の100年に向けた新たなスタートラインとするため、市制100周年記念式典を開催します。

式典の随所に、市制100周年記念事業のコンセプトであり市ブランドメッセージである「Colors,Future! いろいろって、未来。」が感じられる演出を行い、市の魅力や歴史を再確認するとともにシビックプライドを醸成する機会とします。

●取組概要

実施時期 令和6(2024)年7月1日（月・市制記念日）

会場 ミューザ川崎シンフォニーホール

主催者 川崎市/川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会

出席者 1,500名程度（来賓・招待者、被表彰者、市民招待者等）

主な内容 ○オープニング（パイプオルガン演奏）

○市制100周年記念映像の上映

○市制100周年記念表彰式

川崎市の発展に関し特に顕著な功績がある方及び功績があり今後の更なる活躍が期待される方を称える表彰を実施

○市制100周年記念演奏

混声合唱×混成オーケストラによる「多様性が可能性」であることを体現する演奏の実施

COLORS
FUTURE!
ACTIONS
KAWASAKI 100th



2-7 全国都市緑化かわさきフェア

市制100周年の象徴的事業として、みどりが持つ多様なポテンシャルを、共有の価値として認識するとともに、みどりが持つポテンシャルを最大限に活用して、みどりの多様な効果が実感でき、人々が暮らしやすく住み続けたいまちとするため、市民や企業、行政などの多様な主体が将来像を共有するためのさまざまな取組を通じて、“川崎らしいみどり”を全国に向けて発信していきます。

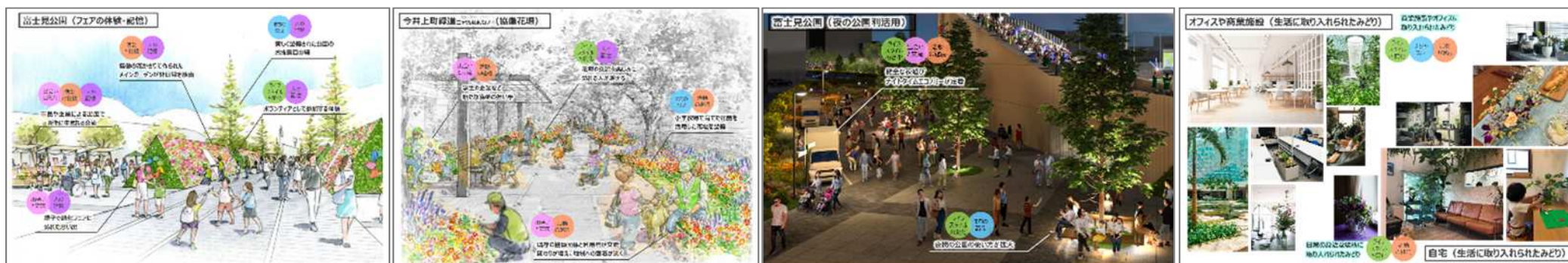
●取組概要

- 名称・愛称** 第41回 全国都市緑化かわさきフェア 「Green For All KAWASAKI 2024」
- 主催者等** 提 唱 国土交通省
主催者 川崎市、公益財団法人都市緑化機構
実施主体 川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会
- 開催期間** 令和6(2024)年10月19日(土)～11月17日(日) (30日間)
令和7(2025)年3月22日(土)～4月13日(日) (23日間)
- 会場** コア会場 富士見公園、等々力緑地、生田緑地
コア会場周辺エリア及びまちなかみどりスポット (公園緑地、駅前広場、道路、河川、庁舎、商業施設、商店街など)



第41回 全国都市緑化かわさきフェア
シンボルマーク

●取組イメージ



※全国都市緑化かわさきフェアは、「全国都市緑化かわさきフェア基本・実施計画」を令和5(2023)8月末に策定し、取組を進めています。

2-8 ① 実行委員会主催事業（フェス&カンファレンス）

実行委員会主催事業を先導し、市制100周年記念事業「Colors, Future! Actions」のショーケースとして、これまでの100年で培われた川崎の魅力を再発見できる、誰もが楽しめる『フェスティバル』と川崎の可能性を共有し、未来づくりへの参加のきっかけとなる『カンファレンス』を組み合わせ、市制100周年からはじまる官民共創の「フェス&カンファレンス」を「Colors,Future! Summit」として開催し、川崎のポテンシャルや魅力を広く発信していくことで、市民のシビックプライドの向上を図るとともに、将来的に自走していくことを目指します。

●取組概要

令和6(2024)年度は、令和5(2023)年度に実験的に開催した「Colors,Future!Summit 2023」の実施結果を踏まえ、「みんなの川崎祭」や「全国都市緑化かわさきフェア」等の屋外での賑わいを創出するイベントと開催時期と場所を合わせて、多くの方が一体的にかつ気軽に参加できるような工夫をしながら、市民のActionや連携するイベントを深掘りするカンファレンスプログラムやスポンサー等による話題のコンテンツを展開して、訪れる方が多様な楽しみ方ができるようなイベントを創出します。

令和7(2025)年度以降についても、収益を得ながら自走できる仕組みを構築し、市制100周年を契機に生み出された本イベントそのものが継続できるよう取組を進めます。



●取組イメージ



川崎のポテンシャルや魅力を発信して未来づくりへの参加のきっかけを創出



川崎にゆかりのある方や有識者を招いて「あたらしい川崎」の可能性を共有



屋外での賑わいイベントと連携して、川崎の魅力を再発見できる誰もが楽しめるフェスティバルを実施

2-8 ① 実行委員会主催事業（公共空間を活用した賑わい創出プロジェクト）

市制100周年記念事業及び都市緑化かわさきフェアを契機として、道路や公園などの公共空間を活用し、川崎で活躍している方々を中心にさまざまな主体が連携しながら、居心地の良いウォーカブルな空間を生み出し、面による賑わい創出のイベントやみどりを身近に感じてもらえる仕掛け等を実施することで、川崎の魅力の向上を図るとともに、取組を広く発信し、市民のシビックプライドの向上やみどりのまちづくりの機運醸成を図るとともに、将来的な公共空間の効果的かつ持続的な活用を目指します。

●取組概要

令和6(2024)年度は、令和5(2023)年度に社会実験として実施した「みんなの川崎祭」の実施結果を踏まえ、全国都市緑化かわさきフェアの開催と時期を合わせ、全国都市緑化かわさきフェア会場である富士見公園までの動線である市役所通り及びその周辺の公共空間などを活用して、さまざまな主体と連携しながら「みんなの川崎祭」を開催し、賑わいの創出を図るとともにみどりを感じながら歩いて楽しめる空間を創出します。令和7(2025)年度以降、市役所通りにおける「みんなの川崎祭」などの賑わい創出イベントの継続を図るとともに、市内における公共空間を活用した取組の発展を図ります。



●取組イメージ



飲食・休憩スペースを道路上に設置し、ウォーカブルな空間を創出



川崎を自慢したくなる魅力ある川崎のコンテンツを集結



実行委員会参画団体等と連携したさまざまな共創の取組の実施



2-8 ① 実行委員会主催事業（等々力緑地全体を活用した共創・賑わい創出プロジェクト）

市制100周年の市制記念日に合わせて、川崎が誇る多様なプレーヤーの連携により、等々力緑地をフル活用した、川崎の魅力や価値に触れる祝賀イベントを実施することで、未来を担う若者を中心に、“川崎はすごい”“最高に楽しかった”という体験と記憶を残してシビックプライドの向上を図るとともに、将来に向けた賑わいあふれる等々力緑地創出を目指します。

●取組概要

令和6(2024)年度は、市制100周年記念日直前の土曜日である6月29日に、川崎が誇る魅力をイベント化し、①等々力球場でのかわさきスペシャルサポーターSHISHAMOとsumika、その他かわさきゆかりのアーティスト等を招聘した音楽フェス「かわさき100フェス」、②等々力緑地一帯での各種スポーツ・パラスポーツ体験コーナー、キッチンカーなど川崎が誇る魅力的なコンテンツを活かした「アット（@/at）等々力フェス」、③川崎フロンターレ市制100周年記念試合、その他の目的に沿ったイベントを組み合わせ、「かわさき飛躍祭」として開催します。令和7(2025)年度以降、等々力球場で実施した音楽フェスをはじめとした等々力緑地活用のチャレンジが、将来に向けた賑わいあふれる等々力緑地創出につながっていくことを目指します。



かわさき飛躍祭のロゴ

●取組イメージ



等々力球場での音楽フェスは初開催



等々力緑地全体で楽しめるイベントを実施



夜は川崎フロンターレの市制記念試合を開催

2-8 ① 実行委員会主催事業（脱炭素プロジェクト）

市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェアを契機に、川崎市の脱炭素戦略（かわさきカーボンゼロチャレンジ2025）のもと、川崎で活動・活躍している企業・団体を中心に一層の連携を進めながら、市民や事業者が環境に良いアクションを行うことをより身近に感じられる事業を実施することで、市民のシビックプライドの向上や、サステナブルなまちづくりに向けた機運醸成を図るとともに、一人ひとりが自発的に環境に良いアクションをとる文化や新しいライフスタイルの形成を目指します。

●取組概要

令和6(2024)年度は、脱炭素プロジェクトの先行的取組として「宅配再配達削減」エコアクションの推進・普及に取り組み、宅配分野における市民の自発的な行動変容につながる仕組みについて検証を行うとともに、本検証より得られた結果から、脱炭素で注目を集めている他分野への展開、また、さまざまな事業主体とのさらなる共創モデルの構築について検討を進めます。

令和7(2025)年度以降、エコアクションを推進する取組分野を段階的に拡大しながら、市民の自発的なエコアクションの連鎖を促す仕組みの創出を目指します。

●取組イメージ

脱炭素プロジェクトの概念



多様な事業者の連携による共創モデル構築と市民の自発的なエコアクションの連鎖が相乗する仕組みの構築

「宅配再配達削減」エコアクションへの先行的取組



宅配ボックスの活用により共働き世代や若年層の受取の選択肢を拡大「特別体験」など利用者特典の提供をきっかけにエコアクションを継続

2-8 ① 実行委員会主催事業（音楽プロジェクト）

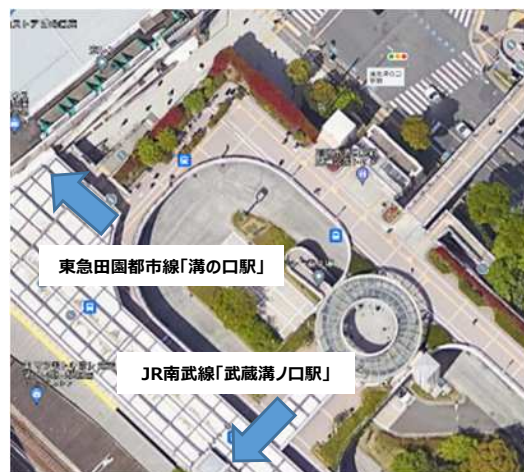
市制100周年記念事業を契機として、令和6(2024)年に20周年を迎える「音楽のまち・かわさき」の活動を加速させるプロジェクトとして、溝口駅前キラリデッキに誰もが楽しめるオープンな空間を設け、音楽を通じた「地域や世代を超えたコミュニティ」を生み出すことによる地域社会の活性化とオープンスペースで活動ができる場の提供による音楽・文化芸術が街と調和するモデルケースの創出にチャレンジし、市民の多彩な文化・芸術活動の場を通じてできた「人のつながり」から川崎らしさを取り入れた活力とうるおいのある地域社会づくりを目指します。

●取組概要

令和6(2024)年度は、「みんなの川崎祭」や「Colors,Future!Summit」、「脱炭素プロジェクト」など他の実行委員会主催事業に参加して、お互いのイベントを盛り上げながら、11月に洗足学園音楽大学や地元企業・町内会等と連携して、溝口駅前キラリデッキに音楽やダンスなど「見て・感じて・楽しめる」憩いのスペースを創出する新たな賑わいイベントを実施します。

令和7(2025)年度以降、みぞのくちでの活動が継続され、このモデルが市内全域に広がり、それぞれの地域の特徴が取り入れられたコミュニティが生まれ、川崎が市民にとっての『住み続けたい街』になっていくことを目指していきます。

●取組イメージ



溝口駅前キラリデッキに憩いの
オープンスペース空間を創出



オープンスペースの活用イメージ
(普段は木の温もりを感じる憩いの空間 → イベント時はステージに変化)



2-8 ① 実行委員会主催事業（みどりの共創プロジェクト）

川崎市では、環境先進都市として持続的な発展を目指し、積極的にSDGsの達成や脱炭素社会の実現に寄与する取組を進めており、また、近年では社会状況や市民のライフスタイルの変化に伴い、暮らしの中にみどりを取り入れる動きが広がるなど、みどりの価値が大きく見直されています。

これまでの川崎の100年を振り返り、これからの川崎をどのようなまちにしていきたいのか。そして、みどりが持つ力を使って、川崎らしく、次の100年により豊かな環境をどうつないでいくのか。全国都市緑化かわさきフェアの開催を機に、市民、企業、大学、行政等の多様な主体の共創により、『みどりでつなげる、暮らしやすく、住み続けたいまち』の実現を目指します。

●取組概要

令和6(2024)年度は、令和5(2023)年度のICT×みどり、健康・スポーツ×みどり、コミュニティ×みどりなどのプロジェクト内で深度化を図った事業案や既存イベントと連携したプレ事業の結果を踏まえた内容を、来場者が多く、注目の集まるフェア会場等で実践することで、多くのデータ収集を行い、事業化に向けたさらなる検証を行います。

令和7(2025)年度以降は、令和6(2024)年度までの経過を踏まえ、事業の精度を高め自走化に向けた事業展開を行います。

●取組イメージ



2-8 ① 実行委員会主催事業（提案型事業）

市制100周年を契機に、これまでの川崎の歴史を振り返りながら、川崎だからできる多様で多彩なアクションを模索し、「あたらしい川崎」を生み出していくために、実行委員会参画団体に加えて、市民、企業、団体等の方々から広く提案を募集して、そこで生まれる柔軟なアイデアや発想から、記念事業を盛り上げ、地域課題の解決、地域の魅力や価値の向上に向けた取組が創出されることを目指します。

●取組概要

<募集する提案の条件>

- ① 川崎市市制100周年記念事業実施計画
「Colors,Future!Actions プラン」の基本理念、基本方針、
取り組む視点と整合性のある提案事業であること。
- ② 令和6(2024)年度に共創事業を実施し、成果を報告できること。
- ③ 令和7(2025)年度以降も事業の継続実施が見込めること。

<負担金の考え方>

- 負担額 1事業あたり上限500万円（※下限は250万円）
- 採用事業数 4件程度を予定（※予算の範囲内で採用数を調整）
- 負担割合 直接的経費の1/2以内で実行委員会が負担

<募集するテーマ>

- 提案する企画内容は基本的に自由

●採択された事業

「子どもの力で川崎の未来を変えるプロジェクト-世界こども地域合衆国サミット-」

- 主催者 学校法人調布学園、一般社団法人デジタル田園都市国家構想応援団、NPO法人ミニシティ・プラス、CHEERS株式会社、一般社団法人SDGs Innovation HUB、一般社団法人CePiCみんなの地球公園国際コミュニティー
- 企画概要 子どもが考える新しいまちづくりやアイデアの実現に向けて、川崎市に根付いた産業を子どもたちが体験することができる企画と市内の小中学生が参加する「世界子ども地域合衆国サミット」と「共創子ども会議」を開催する。

「まんなかフェス2024」

- 主催者 株式会社カリヨン・カンパニー、一般社団法人Miraia!かわさき、一般社団法人武蔵小杉エリアマネジメント
- 企画概要 これまでのまんなかフェスで実施してきた、市内の作家によるハンドメイドマルシェ、ワークショップや体験、地域の飲食出店、ステージ発表、親子コンサートに加えて、100周年を機に新規に市民参加型の花と緑をコンセプトとした『音とアート』のパレードを実施する。

令和6(2024)年度は、採用された事業について、定期的に実行委員会事務局への進捗報告を求めながら、提案事業者からの相談や必要な助言を行うなど伴走支援をしながら取組を進めます。

2-9 ② 川崎市主催事業

川崎市が主体となり、さまざまな施策に取り組む中で記念事業を実施します。

- ・ 川崎市の各局区が所管する施策・事務事業に取り組む中で、市制100周年を契機として、一歩先を目指す+αのチャレンジを行うものです。
- ・ 実行委員会では、事業によっては川崎市の各局区の事業と効果的な連携を図ります。

【令和6(2024)年度取組】(111事業 ※令和6(2024)年度予算案で新規・拡充とした事業) [別紙] 事業一覧参照

○市制100周年を祝い、盛り上げるイベント開催などの取組(20事業) →P 39

さまざまなイベントにおいて、市制100周年を記念した特別な事業を展開します。

○市制100周年を彩る、地域ごとの特徴ある取組(41事業) →P 40

各区における地域の特徴や資源等を活かした特徴的な事業を展開します。

○これからの100年を担う若年層への取組(23事業) →P 41

子どもたちの成長・発達段階に応じて、市制100周年記念事業を実施します。

○市制100周年のPR及びさまざまな取組(27事業) →P 42

さまざまな機会を捉えながら、川崎の歴史を踏まえた市制100周年のPR等を実施します。

2-9 ② 川崎市主催事業（市制100周年を祝い、盛り上げるイベント開催などの取組）

取組の核を中心に、実行委員会主催事業と連携しながら、市制100周年を盛り上げるさまざまなイベントを年間を通じて実施します。

PICK UP

市役所通りのライトアップ

市制100周年を契機として、全国都市緑化かわさきフェアや公共空間の活用等と連携しながら、市役所通りを再生可能エネルギーによりライトアップすることで、空間を高質化し、都市イメージの向上やシビックプライドの醸成につなげます。



PICK UP

市制100周年記念「多摩川花火大会」

市制100周年を記念し、花火の玉数を約10,000発に増やし、動画配信や市民参加型のプログラムなどの新たな取組を実施するなど、例年より内容を充実させた特別な大会として実施し、ふるさと川崎の更なる意識の高揚につなげます。



PICK UP

100周年記念・拡大版「優しい木のひろば」

市制100周年の今回、全国都市緑化かわさきフェアと連携しながら、木材利用促進イベント「優しい木のひろば」の取組を拡大して各区において実施し、より木の良さや木材利用の意義を広く知っていただくための取組を進めます。



PICK UP

市制100周年・音楽のまち20周年記念事業

市制100周年とともに20周年を迎える「音楽のまち・かわさき」を祝い、盛り上げ、次の100年につなげていくため、「かわさきジャズ」を始め、多世代が楽しめる大合奏プロジェクトや市民参加型で音楽を作るワークショップなど、関連団体や市民とともに記念事業を展開します。



2-9 ② 川崎市主催事業（市制100周年を彩る、地域ごとの特徴ある取組）

市内の地域の特徴や資源を活かしながら、地域で活躍する方々と連携し、市域全体で記念事業を展開していきます。

多摩区

登戸駅前の公共空間の活用や、多摩スポーツセンター、Anker フロントアウ生田でのスポーツフェスタ、生田地区における市制100周年記念植樹などの取組を実施します。



中原区

小杉駅前の公共空間、平和館、国際交流センター等を活用したイベントや、市民参加型のアート作品の制作、記念花壇の装飾などの取組を実施します。



幸区

「さいわいにぎわいフェス」などの川崎駅西口周辺でのイベントや花手水の設置、かこさとしスポットの設置などの取組を実施します。



麻生区

麻生区の文化・芸術・農業などの資源を活かしたイベントの実施や、市制100周年を記念した行政・市民・企業と協働での美化・植栽活動などの取組を実施します。



高津区

溝口駅前におけるキラリデッキのリニューアルや脱炭素アクションみぞのくちのイベント、橋樹官衙歴史公園オープン記念式典などの取組を実施します。



川崎区

市制100周年を記念したかわさき市民祭りの開催や東海道魅力発見ツアー、市制100周年記念企画展や100人の笑顔の写真展などの取組を実施します。



宮前区

鷺沼駅前の公共空間等を活用したイベントや、北部市場でのメニュー開発、東名川崎IC周辺におけるみどりの景観づくりなどの取組を実施します。



臨海部

川崎みなと祭りのドローンショーや臨海部企業等の施設見学、港の仕事体験などの取組を実施します。



2-9 ② 川崎市主催事業（これからの100年を担う若年層への取組）

子どもたちの成長・発達段階に応じて、住んでいるまちに関わり、川崎を好きになる事業を実施していきます。

また、若い人たちが集い、自らの可能性を広げるため、若者文化を盛り上げていきます。

PICK UP

川崎臨海部の未来を考えるシンポジウム



次の100年に向けて変革を進める川崎臨海部への理解を深める機会を創出するため、市立高校の研究グループによるSDGs等をテーマとした自主研究発表や有識者による講演等を行うシンポジウムを開催します。

PICK UP

「学校e～ね★サミット」の開催



全市立学校において、子どもたちが「わたしたちのまち川崎」に関する学びを深め、発表用のスライドや動画を作成し、各学校の取組を互いに共有するとともに、地域との交流や代表校による発表会の開催等を実施します。

PICK UP

郷土の味を知り、歴史と食を学ぶ



公立保育所において、川崎の伝統的な郷土料理のアレンジレシピを考案し、紙芝居などで「食」を楽しみながらまちの歴史を学ぶことで、まちに対する興味・関心を深める機会を提供するとともに、レシピ本を製作するなど子育て世帯に役立つ情報を広めます。

若者（高校生～）

若者の未来を応援するため、高校生による研究発表等を行うシンポジウムの開催や川崎の若者文化であるブレイキンやダブルダッチの大会誘致・体験会の実施などの取組を実施します。



ACTION 04
ネクストジェネレーション

小中学生

子どもたちが学校からまちに出て、まちと関わりながらさまざまな体験ができるよう、全市立学校で行う「学校e～ね★サミット」など自分のまちを知って関わりながらそれを発表する取組や、市のさまざまな施策に関する学生向け体験会などの取組を実施します。



ACTION 14
学び

未就学児

市制100周年を契機に、自分の住む川崎市を楽しみながら感覚的に知って、好きになってもらえるよう、保育園における地元の野菜を使った給食の提供や公園等での花植え、身近な川崎の魅力を感じる体験などの取組を実施します。

子どもたちの成長・
発達段階に応じて

2-9 ② 川崎市主催事業（市制100周年のPR及びさまざまな取組）

さまざまな機会を用いて、市制100周年のPRや川崎の歴史等を知ってもらう取組を展開します。

また、全国都市緑化かわさきフェアと連携したみどりの取組や多様性をテーマとした取組等を実施します。

PICK UP

100人100通りのほっこりポスター

市制100周年を契機として、市内全体のムードをより「つながり志向」「支えあい志向」に変えていくため、つながりや支えあいの大切さを感じられる100人100通りのポスターを作成し、さまざまな場所への掲出及びSNS等での広報を展開します。



※イメージ



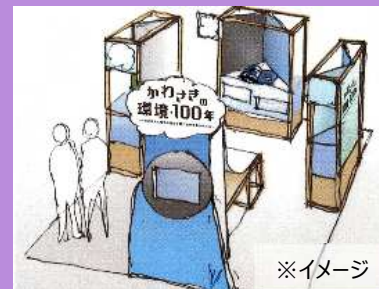
※イメージ



PICK UP

川崎の発展と環境の歴史を振り返り未来を考える企画展

令和5(2023)年度の取組を踏まえながら、これまでの環境関連の記録写真等を取りまとめてデジタルアーカイブ化するとともに、川崎の発展と環境の歴史を振り返り、未来を考える企画展やワークショップを開催します。



※イメージ



※イメージ



PICK UP

みどりと魅力があふれる散歩道の更なる活用

全国都市緑化かわさきフェアの開催を契機に、さらにみどりへの関心を深めていただくため、ガイドマップ「川崎散歩ゆるり旅」で紹介している散歩道を、「かわさきTEKTEK」のウォーキングコースとして追加するとともに、協働花壇のリニューアルを実施します。



※イメージ



※イメージ



PICK UP

市制100周年記念展

市制100周年を契機に文化芸術をより一層身近に感じていただくため、川崎ゆかりのアーティストによる企画展や、まちなかにおける展示、川崎の歴史を掘り下げる企画展などを実施します。



※イメージ



※イメージ



2-10 ③ 実行委員会参画団体主催事業について

実行委員会参画団体が自ら事業を実施し、市制100周年を盛り上げるとともに、「Colors, Future! Actions」の取組が市全体に広がっていくよう機運醸成を図ります。

実行委員会では以下の取組を進めます。

- ・参画団体に対して、引き続き、記念事業の趣旨の丁寧な説明を実施します。
- ・登録いただいた事業について、公式WEBサイトでの発信や特集記事化、メールマガジンやニュースレター、ラジオ番組の活用など、多様な広報媒体にて積極的にPRを行います。
- ・事業創出を支援するため、令和4(2022)年度に募集した「アイデアの種(※)」の活用や、参画団体同士等で交流し、共創につながる交流会を開催するとともに、団体ごとに実行委員会の事務局担当者を設定するなど、引き続き、事業を創出しやすい環境づくりを行います。

※アイデアの種：公式WEBサイトに掲載



2024年 1月

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

今後開催予定のイベント



公式WEBサイトでの周知



公式WEBサイトでの特集記事化



実行委員会参画団体の交流会の開催

2-11 ④ パートナー主催事業について

市民や実行委員会に参画していない企業、団体等が、記念事業に参加できるしくみとして「パートナー制度」を設け、記念事業の趣旨に賛同する多くの方に自ら事業を実施していただき、オール川崎市で市制100周年を盛り上げます。

● 制度の概要

1. パートナーとは ————— 記念事業の趣旨に賛同し、Actionを実行する市民と実行委員会に参画していない企業、団体等のこと。
2. Action の実施イメージ — 普段の取組に記念事業の要素(+α)を加え、ロゴマークやActionテーマラベルを付して実施していただきます。
3. パートナー事業の紹介 — 登録いただいた事業については、実行委員会の公式WEBサイトにて発信するとともに、より記念事業のコンセプトに合う事業については、ニュースレター、公式WEBサイトの特集記事とするなど、多様な広報媒体にて積極的にPRします。また、記念事業期間終了後に作成予定の記録誌に掲載します。

● パートナーによるActionの創出に向けて

- ・ パートナー主催事業の制度概要や登録方法について、分かりやすいチラシを作成し、市民団体等の集まりの場での説明や広報等を積極的に行い、パートナー主催事業の更なる周知を図ることで、市内全域で事業が展開されるよう取組を進めます。
- ・ 実行委員会参画団体が実施したさまざまな事業を多くの方々に周知することで、パートナー主催事業の創出につなげていきます。



分かりやすいチラシの作成



市民団体の集まりの場での説明

2-12 「Colors, Future! Actions」の展開イメージ

市制100周年をきっかけとして、令和5(2023)年度から段階的に事業を展開し、徐々に市民、企業、団体等の認知・理解を図ります。令和6(2024)年度の事業期間にさまざまなアクションを創出し、市制100周年後も、「Colors, Future! Actions」の取組が続くよう、進めていきます。

	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度～
	コンセプトを共有し 共創の機運醸成	令和5年度の取組により 醸成された機運を活かし 更なるアクションを創出	市制100周年後も 市民、企業、団体等が主体と なって継続的に自走する
川崎市	市主催プレ事業	市主催事業	取組の継続・発展 ※実行委員会は解散し、新たな ステップに向かうことを検討
実行委員会	・ Colors, Future! Summit ・ みんなの川崎祭 実行委員会参画団体主催プレ事業	・ 実行委員会主催事業 実行委員会参画団体主催事業	
パートナー	認知・理解	パートナー主催事業	

2-13 目指すレガシー

記念事業に取り組む中で、多様な主体が力をかけ合わせて生まれたActionや、シビックプライドの高まりを活かしながら、次の100年に向けて、自らまちに関わり、まちを盛り上げる市民、企業、団体の方々とともに川崎を持続的に発展させ、あたらしい川崎を生み出していきます。

市制100周年を機に生まれたつながりやActionを持続的に発展

市制100周年を契機として生まれたつながりや多様な主体が力を掛け合わせて生まれたActionを、次の100年に向けて活かし育てながら、川崎を持続的に発展させていくことを目指します。



共創による新たなかけ合わせが生まれやすい機運を醸成



100周年を機に生まれた事業
「Colors, Future! Summit」
「みんなの川崎祭」などの事業の継続・発展

一緒に盛り上げた記念事業を経て、川崎のファンが増加

川崎を知って、関わって、好きになる記念事業の実施により、市民一人ひとりのシビックプライドの醸成を図るとともに、自らまちに関わり、まちを盛り上げる市民、企業、団体の方々の増加を目指します。



川崎を知って関わって好きになる子どもたちが増加



自らまちに関わり、まちを盛り上げる市民等が増加

川崎のポテンシャルや魅力を高める取組を加速

市制100周年を機にチャレンジすることで、さまざまな分野の取組を加速させることを目指します。



車道の活用や通りのライトアップなどにより公共空間の活用が加速



脱炭素や音楽、若者文化など、川崎の得意分野を伸ばし、より魅力的なまちに



障がいの有無など関係なくより誰もが暮らしやすいまちに

全国都市緑化かわさきフェアのレガシー

フェアをきっかけに、市民、団体、企業等の多様な主体との協働・共創により、日常的に憩い、集い、賑わう質の高いみどりとオープンスペースを創出するとともに、日常の暮らしの中にみどりが溶け込み、みどりを通して、人と人、人とまちのつながりを生み出すことを目指します。



日常的に憩い、集い、賑わうみどりとオープンスペースを創出



日常の中にみどりが溶け込み、みどりを通してつながりを生み出す



地域のやりたいを叶えることができる地域の個性があふれる公園に

3 広報計画

- 3-1 広報のコンセプト
- 3-2 準備期間の広報
- 3-3 「取組の核」と連動した広報集中期間
- 3-4 メディアの活用
- 3-5 情報発信の旗艦
「市制100周年記念事業公式WEBサイト」
- 3-6 ターゲットに応じた広報の展開
- 3-7 実行委員会参画団体・パートナーとの広報連携
- 3-8 かわさきスペシャルサポーター
- 3-9 広報施策の具体例
- 3-10 記念事業ロゴマーク等の活用
- 3-11 広報のスケジュールイメージ

3-1 広報のコンセプト

知って、関わって、好きになってもらう

広報のコンセプト「知って、関わって、好きになってもらう」に沿って、川崎市と実行委員会が、広報の役割分担をしながら、連携した広報を実施します。

「Colors, Future! Actions」の取組をニュースコンテンツとして、川崎の多様で多彩な市民、企業、団体等による未来づくりを発信していきます。



市制100周年ビジュアル

川崎の魅力や市制100周年を知ってもらう



記念事業に参加し、関わってもらう

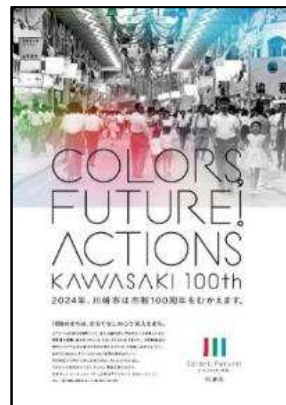
川崎を好きになってもらう



3-2 準備期間の広報

令和5年度の準備期間においては、市制100周年を「知ってもらう」ためのさまざまな広報物を制作し、市制100周年に向けた機運醸成を図りました。

準備期間の主な掲出・展示物



PRポスター（8種類）

市内公共施設・学校・鉄道駅等への掲出や、実行委員会
参画団体への配布などで約5,500枚を展開。
令和6(2024)年度は、新しいビジュアルを活用し、継続実施



白黒写真カラー化パネル（20種類）

市内約30か所への巡回展示と
各イベントにおける展示を実施。
令和6(2024)年度も継続実施



15秒CM（7種類）



各区を振り返る動画（7区別）

PR動画（14種類）

15秒CM7種類と各区を振り返る動画を作成し、
全市30か所以上の施設サイネージ等で放映。
令和6(2024)年度も継続実施



主要駅等のシティドレッシング

令和6(2024)年1月から、市内主要駅等における
ラッピングなどのシティドレッシングを展開。
令和6(2024)年度は、集中広告期間を設けながら
より多くの人の目に留まるよう展開



のぼり旗（2種類）

公共施設やイベントでの掲出
など、700枚を展開。
令和6(2024)年度は、新しい
ビジュアルを活用し、継続実施



懸垂幕（7施設）

公共施設7か所に掲出。
令和6(2024)年度は、
新しいビジュアルを活用し、
継続実施



ロールアップバナー

令和6(2024)1月から、屋内
イベントや庁舎内等で使用

3-2 準備期間の広報

広報物の制作に加えて、市制100周年を「知ってもらい」「関わってもらう」広報として、34か所のイベントへブース出展し、市民と直接コミュニケーションを図りながらPRの取組を進めました。

イベントブース出展内容

① 市民参加ワークショップ (参加者 約1,800人)

180色の色鉛筆から選んだ好きな色と川崎の好きなところを集め、大きな作品を作り上げる企画を実施。作品は、公式WEBサイトにおいて公開



② 認知度シール投票 (参加者 約4,200人)

市制100周年・緑化フェアの認知度調査をシール投票で実施。

令和6(2024)年度も継続実施



③ PR広報物展示等

PRポスター、白黒写真カラー化パネルなどの展示やノベルティグッズ、広報冊子等の配布を実施



準備期間に制作した主なノベルティグッズ・広報冊子等

ノベルティグッズ (7種類)

季節やイベント内容によって配布物を選択できるように幅広いグッズを制作し、ワークショップ参加者へのプレゼントをはじめ、市内のイベントや会議等で配布。



広報冊子等

ターゲットに応じた広報冊子を制作し、イベント出展をはじめ、市内のイベントや会議等で配布。
令和6(2024)年度は、ニュースレターを中心に多くの方にさまざまなイベントを「知って、関わってもらう」ツールとして展開



ニュースレター
(約50,000部)

雑誌ソトコトの特別小冊子
(約10,000部)

市制100周年PR広報紙
(各区版 約15,000枚)

PRチラシ
(約25,000枚)

3-3 取組の核と連動した広報集中期間

記念事業期間における広報は、時期ごとに設定した「取組の核」と連動した広報集中期間を設け、事業と広報を一体的に展開します。



3-4 メディアの活用

さまざまなメディアを活用して、市民、企業、団体等の「Colors, Future! Actions」への参加促進を図ります。

< 認知 >

ペイドメディア

まちの機運醸成と短期的な集客



人々が多く行き交う駅や街中に、ロゴマークやActionラベル、ポスターを掲出し、市制100周年への機運を街全体で醸成していきます。

< 理解 >

オウンドメディア

情報発信から
ブランドメッセージの理解促進

ニュースレター

公式WEBサイト



実行委員会の取組に直結したメディアとして、より詳細なレポートの情報発信を行うとともにアーカイブとして蓄積することで、記念事業への理解、関心を高めます。

< 認知 >

アードメディア

市民、企業、団体等との
コミュニケーション

プレスリリース

パブリシティ



カンファレンスでのトークセッションのレポート、具体的なActionの発信など、記念事業の動きを各メディアに積極的に発信していきます。

3-5 情報発信の旗艦 「市制100周年記念事業公式WEBサイト」

公式WEBサイトで記念事業を可視化・共有し、さまざまなメディアを活用して更なる参加へとつながる循環をめざします。



プロジェクト・
イベントなどの
告知と実施報告



「大学対校!ゴミ拾い甲子園
in川崎市」が開催されまし
た!



川崎市立小杉小学校の6年
生が川崎市市制100周年記
念花壇を製作!

Actionや
各種事業の紹介



事業提案申込
協賛申込



各メディアへの展開



パブリシティ



あらたな連携
参加の促進



3-6 ターゲットに応じた広報の展開

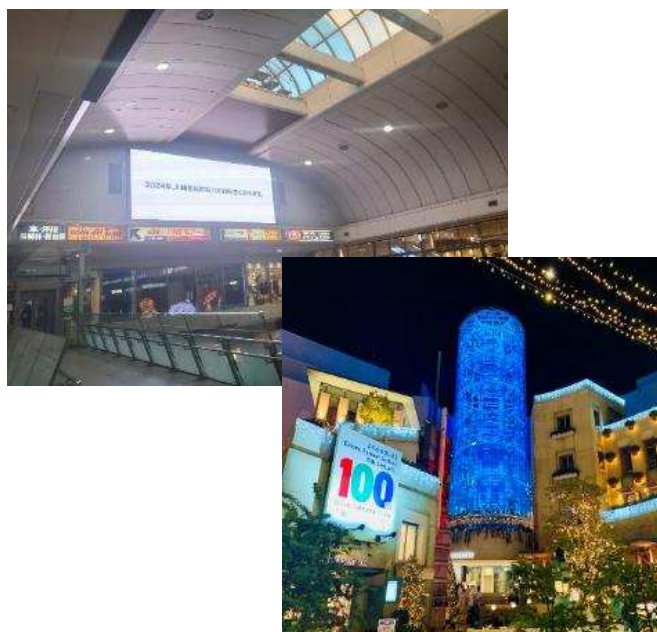
広報媒体のターゲットに応じ、メディアミックスで全世代に情報が届くように戦略的な広報を実施します。



3-7 実行委員会参画団体・パートナー等との連携

車両や店頭へのステッカー掲出、商品パッケージへのロゴマーク掲載、デジタルサイネージや壁面等の広告媒体提供など、実行員委員会参画団体やパートナー等と連携したPRを促進します。

また、協賛企業ロゴなどを掲載した市制100周年ポスター等の市内公共施設・学校・鉄道駅等への掲出や、実行委員会参画団体への配布などで展開していきます。



広報の連携

店頭や車両へのステッカー掲出、商品パッケージへのロゴマーク掲載など、オール川崎市で市制100周年を迎える機運を醸成します。



広告媒体の提供

駅・商業施設などのデジタルサイネージや広告スペースで、市制100周年の動画やポスター、ラッピングなどによる広報連携を行います。広告換算金額に応じて協賛ランクを設定します。

協賛企業ロゴ入り広報物

協賛企業名やロゴを掲載したポスターなど。
協賛ランクに応じた広告物を制作・配布します。



3-8 かわさきスペシャルサポーター

川崎市が実施する「かわさきスペシャルサポーター※」と連携して、主に若い世代を対象に、川崎を好きになる事業を展開します。



SHISHAMO

特別版バンドスコア

音楽を頑張る若い人たちを応援したい！との思いを特別版バンドスコアに込めて、市内の中学校・高等学校をはじめとする約140か所にプレゼントしました。

また、川崎駅西口の新しいライブハウス「SUPERNOVA KAWASAKI」の公開リハーサルに、中高生を無料招待しました。



sumika

かわさきミュートンコラボグッズ

「音楽のまち・かわさき」マスコットキャラクター・かわさきミュートンとsumikaがコラボ！

sumikaオフィシャルストアでグッズを期間限定発売。「活動の原点である川崎市で、若い世代や子どもたちの活躍を応援したい！」という気持ちから、売上金の一部が「川崎市子ども・若者応援基金」に寄附されました。



かわさき スペシャル サポーター 第2弾！！



KADOKAWA DREAMS

2020年10月結成のプロダンスチーム。中原区を本拠地とする。日本発・世界で初めてのプロダンスリーグ「D.LEAGUE」に参画し、「D.LEAGUE 22-23 CHAMPIONSHIP」で優勝。2023年イギリス開催の世界大会に初出場第3位を誇る。川崎市主催イベントなどに精力的に出演するほか、地域に根差した活動も行う。

※若い世代を中心に絶大な支持があり発信力が高く、川崎市にゆかりがある著名人等と連携し、市制100周年を契機に「川崎への愛着・誇り」の醸成、川崎の認知度やイメージ向上を図ることを目的とした制度です。

3-9 広報施策の具体例

オリジナルグッズの企画制作や、イベントレポートの定期的な発信、市民ひとり一人の参加を促す仕掛け等を行い、市制100周年への機運と川崎市への愛着を醸成します。

オリジナルグッズの制作



ロゴやActionsテーマのラベルをあしらったオリジナルグッズを企画し、市制100周年をより身近な存在にしていきます。

イベントレポートの発信



Colors,Future! Summitのトークセッションや体験コンテンツを各種メディアで発信します。

既存イベントや新規イベントと連携することで、人々の参加を促し、関わって好きになる人を増やしていきます。

みんなの想いを集める



川崎の好きなところや想いを、色で表現するワークショップを開催。

みんなからあつめた、“色”と想いは、公式Webサイトでの発表とともに、ひとつの大きな作品として仕上げていきます。

3-10 記念事業ロゴマーク等の活用

記念事業ロゴマークと15のActionテーマのラベルを各記念事業の発信やPRで使用するるとともに、市民、企業、団体等に配布し広く活用していきます。



市制100周年を記念したイベントや市民活動でロゴマークが活用されています。



実行委員会参画団体やパートナーの商品やサービス等に、ロゴマークが活用されています。



多様なジャンルで自分自身が楽しみながら、地域を住みやすくしたり盛り上げる「ローカルヒーロー」を特集した、雑誌ソトコトの特別小冊子。
この冊子では、15のActionテーマから、さまざまな人たちとその活動を取り上げました。



Actionテーマを題材にしたカードゲームを開発。テーマ・ひと・場所をヒントに自らActionを考えます。
イベント会場や、大学・企業・団体の出前講座など実施し、さまざまなアイデアが生まれました。

3-11 広報のスケジュールイメージ

市制記念日やイベント時期に広報集中期間を設けるとともに、実行委員会と市が連携して、令和5(2023)年度の「知ってもらう」を中心とした広報から、令和6(2024)年度は「関わり・好きになってもらう」ことを強化し、広報を展開していきます。

実行委員会実施

市実施

	令和5(2023)年度			令和6(2024)年度												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4
シティドレッシング	市所管施設での通年の掲出															
						駅広告				駅広告						
各種広報アイテム	100周年PRグッズ（PR動画、PRチラシ、のぼり旗、ステッカー、マグネットなど）															
ブース出展・ 市民参加型企画	随時、イベントブース出展、公式WEBサイトで市民参加型企画作品を公開															
公式WEBサイト	随時、「Colors, Future! Actions」の取組をニュースコンテンツとして発信															
ニュースレター	Vol.1				Vol.2					Vol.3					Vol.4	
協賛企業ロゴ入り広報物				ポスター、協賛ボード、記録誌など												
オウンドメディア	Instagram															
	市政だより				市政だより					市政だより						
パブリシティ	広報事務局によるパブリシティ展開															

記念事業年度突入

市制記念日

緑化フェア秋

緑化フェア春

4 資金計画

4-1 実行委員会予算について

4-2 協賛金について

4-1 実行委員会予算について

令和5(2023)年度・令和6(2024)年度の2年間で、川崎市から支出される負担金や協賛金などを活用しながら、事業を進めていきます。

※令和5(2023)年度はフェス&カンファレンスとして「Colors,future!Summit」を「実行委員会主催プロジェクト」と「機運醸成」の取組を兼ねて実施しましたが、これまでの取組を踏まえ、官民連携のプロジェクトとしての実績を残すとともに一定の機運醸成が図られたことから、令和6(2024)年度については、「Colors,future!Summit」を実行委員会主催プロジェクトとして将来の自走を見据えながら実施します。また、広報等については、さまざまな媒体を通じて取組を発信することなどにより、さらに強化して実施します。

令和5(2023)年度・令和6(2024)年度2年間の想定事業費：約3.3億円

支出

分類・概要		令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度
プロジェクト	実行委員会主催プロジェクトの 検討・準備・実施費用	約1,500万円	約1億6,500万円	実行委員会は解散し、 新たなステップに 向かうことを検討
市民、企業、団体等の 機運醸成	(フェス&カンファレンス(※1)) 機運醸成イベント等	約2,500万円	約500万円	
広報等	公式WEBサイト・ニュースレター 広告出稿・事務運営経費等	約4,500万円	約7,500万円	
想定事業費 合計		約8,500万円	約2億4,500万円	

※1 令和5(2023)年度はフェス&カンファレンスとして「Colors,future!Summit」を「実行委員会主催プロジェクト」と「機運醸成」の取組を兼ねて実施しました。

収入

収入見込	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度
川崎市からの負担金	約1億500万円	約1億2,500万円(※2)	実行委員会は解散し、 新たなステップに 向かうことを検討
協賛金	0円	約1億円	
令和5(2023)年度繰越金	—	約2,000万円	

※2 負担金を支出する川崎市の予算については、議会の議決を経て決定するものであり、現時点の想定です。

4-2 協賛計画について

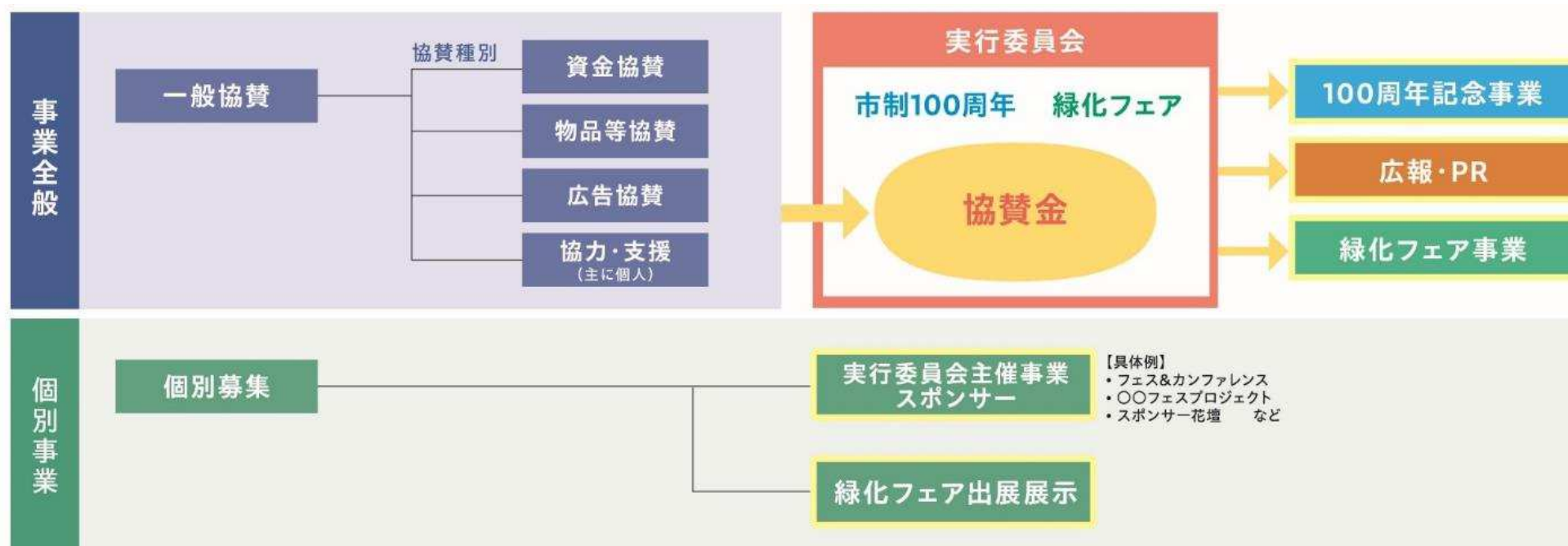
市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会が主催する記念事業全体への一般協賛と実行委員会主催事業や緑化フェア事業で独自に設定する個別事業への協賛について、それぞれの趣旨に賛同していただいた個人・企業・団体等から協賛を募って、記念事業に取り組んでいきます。

【募集期間】

資金協賛、協力・支援 令和5(2023)年9月1日～令和6(2024)年8月31日

物品等協賛、広告協賛 令和5(2023)年9月1日～令和7(2025)年3月31日

協賛の体系図



〔留意事項〕 ※ 個別募集には、一般協賛の特典は付与されません。

※ 実行委員会主催事業とは、記念事業全体をリードする目玉となるプロジェクトのことです。

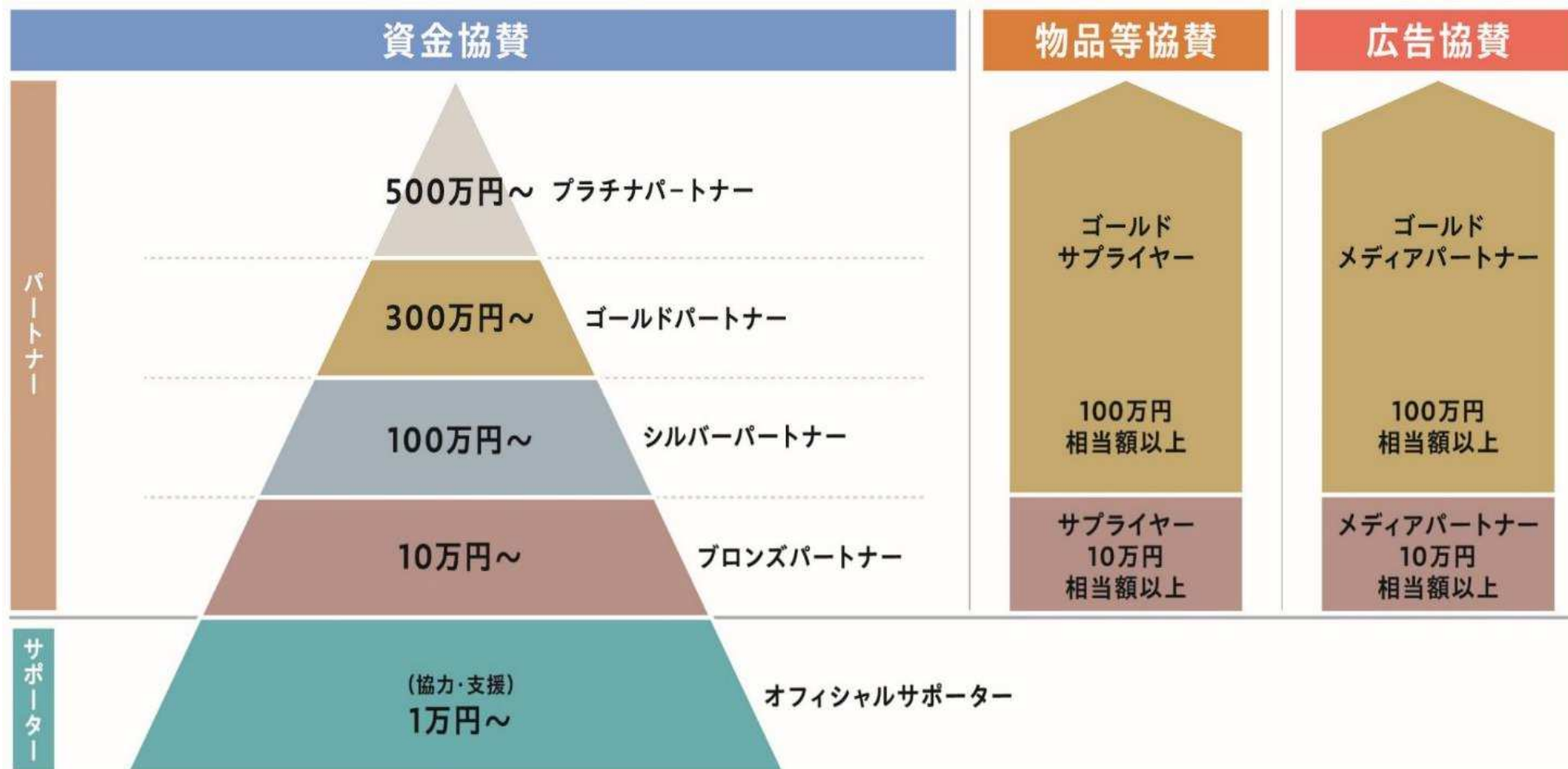
※ 実行委員会主催事業スポンサーは、各事業またはプロジェクトごとに募集するかを検討します。

※ 緑化フェア出展展示は、別に募集要項を定めて募集します。

4-2 協賛計画について

協賛種別ごとに協賛ランクを設定します。

協賛ランク



4-2 協賛計画について

特典メニュー表	カテゴリー	資金協賛				物品等協賛		広告協賛		協力・支援
	協賛ランク	プラチナ パートナー	ゴールド パートナー	シルバー パートナー	ブロンズ パートナー	ゴールド サプライヤー	サプライヤー	ゴールド メディア パートナー	メディア パートナー	オフィシャル サポーター (個人のみ)
	金額	500万円～	300万円～	100万円～	10万円～	100万円 相当額以上	10万円 相当額以上	100万円 相当額以上	10万円 相当額以上	1万円～
名称使用权										
「〇〇パートナー / サプライヤー / サポーター」名称使用权		○	○	○	○	○	○	○	○	○
パートナーランク別の単色ロゴの使用権		○ プラチナ	○ 金	○ 銀	○ 銅					
広報・製作物(※ランク別)										
かわさきフェア会場エリア内への企業・団体名掲載 【★令和6年6月までの申込が対象】		○								
公式ポスターへの企業・団体名掲載 【★令和6年2月までの申込が対象】		○ 大	○ 中	○ 小	テキスト	○ 小	テキスト	○ 小	テキスト	
協賛ボードへの企業・団体名掲載		○ 大	○ 中	○ 小	テキスト	○ 小	テキスト	○ 小	テキスト	
かわさきフェアガイドブックへの企業・団体名掲載 【★令和6年6月までの申込が対象】		○ 大	○ 中	○ 小	テキスト	○ 小	テキスト	○ 小	テキスト	
公式WEBサイトへの企業・団体名掲載・バナーリンクの設定		○ 大	○ 中	○ 小	テキスト	○ 小	テキスト	○ 小	テキスト	
公式WEBサイト記事・ニュースレター・SNS等への企業・団体名掲載		○	○							
公式記録誌への企業・団体名掲載		○	○	○	○	○	○	○	○	○
実行委員会ユニフォームへの企業ロゴ掲載 【★令和6年6月までの申込が対象】		○				○*				
市制100周年記念式典(かわさきフェア公式行事除く)										
式典会場・エントランスホール内での広報 【★令和6年2月までの申込が対象】		○ 大	○ 中	○ 小						
プログラムへの企業・団体名掲載 【★令和6年2月までの申込が対象】		○ 大	○ 中	○ 小	テキスト	○ 小	テキスト	○ 小	テキスト	
その他										
市長受領・感謝状贈呈		○								

[実行委員会ユニフォームへの企業ロゴ掲載について]

※ 物品等協賛のゴールドサプライヤーはユニフォームの協賛をいただいた場合に適用されます。

[留意事項]

※ 協賛の申込み時期によっては、協賛特典の提供ができない場合があります。

※ 物品等協賛や広告協賛は、協賛社様による見積書・カタログ・仕様書・提案書等に基づく金額換算を提出いただき、事務局にて確認の上協賛ランクを決定します。

※ 物品等協賛や広告協賛の金額換算は上限を100万円とします。(100万円を超えて協賛した場合でもランクは「ゴールド」となります)

※ 資金協賛と物品等協賛又は広告協賛を併せて申込みした場合、それぞれの協賛カテゴリーに応じた協賛特典を提供いたします(合算しません)。

※ ロゴによる企業等の名称の表記は、協賛社様の指定書体、指定色となります。

※ 統一体裁表記は、実行委員会の指定書体、文字色は単色となります。

※ 競合排除はしません。

5 実施体制等

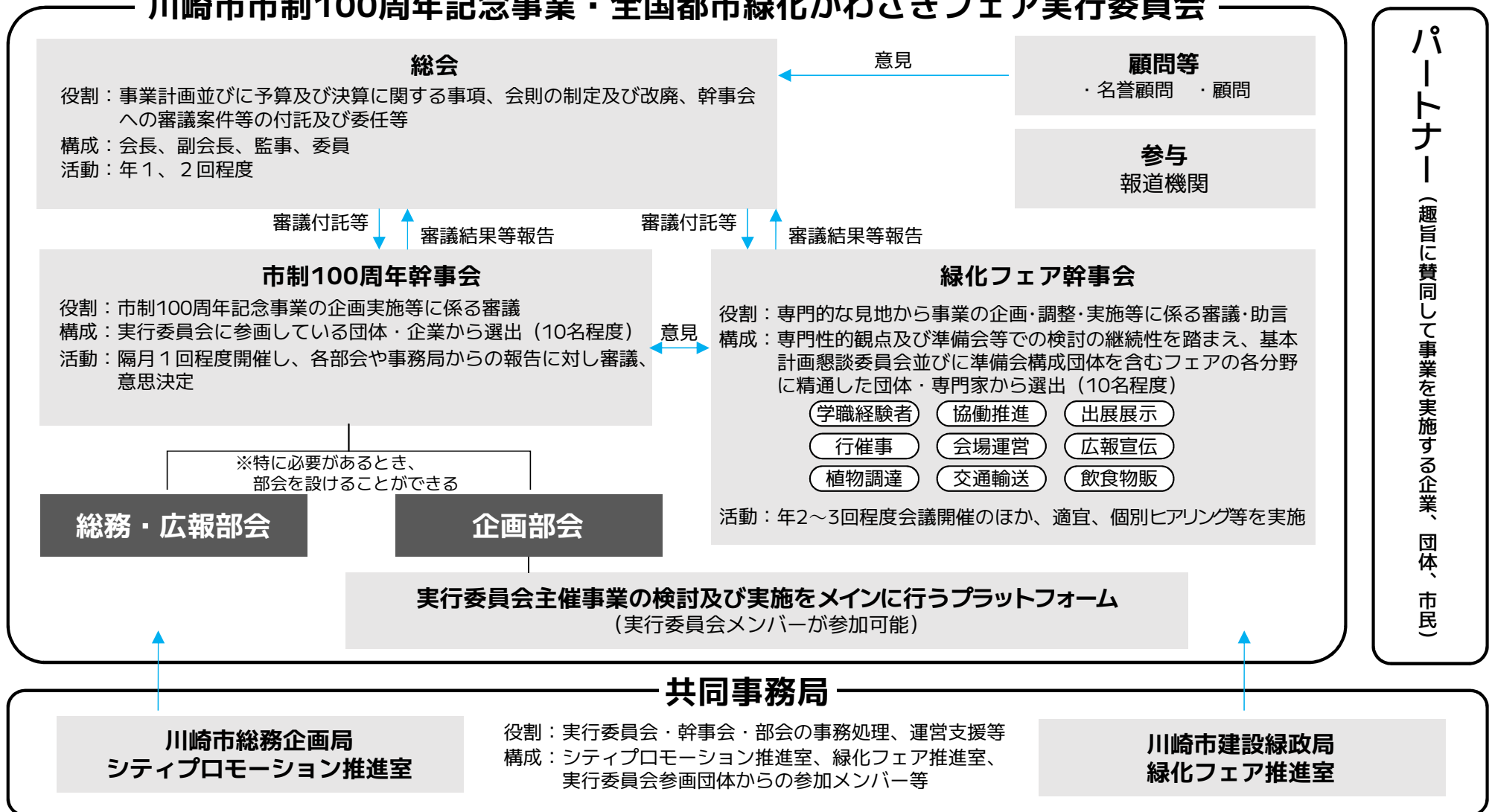
5-1 実施体制

5-2 今後のスケジュール

5-1 実施体制

川崎市市制100周年記念事業と、その象徴的な事業として実施する「全国都市緑化かわさきフェア」を一体的に展開していくため、「川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会」を設立し、推進します。

川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会



5-2 今後のスケジュール

- ・ 実行委員会主催事業については、「実施計画」に基づき、市民、企業、団体等との共創により、事業を実施していきます。
- ・ 各主体で実施する事業については、100周年公式WEBサイトを中心にさまざまなメディアを通じて情報発信を行います。
- ・ 記念事業の実施結果等を踏まえ、令和7(2025)年度以降への取組の継続・発展に向けた検討を行います。

	項目	令和6(2024)年度				令和7(2025)年度		令和8(2026)年度	
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～9月	10～3月		
体制	総会		第5回		第6回	第7回（解散）	—	—	
	市制100周年幹事会	連携 隔月程度開催予定					—	—	
	緑化フェア幹事会	年2～3回程度会議開催の他、適宜、個別ヒアリング等を実施					—	—	
取組	市制100周年 記念事業		7/1記念式典			取組の 継続・発展			
		①実行委員会主催事業/ ②市主催事業 ③参画団体主催事業 / ④パートナー主催事業 の実施							フェス& カンファ レンス
		シティドレッシングやアクション発信等の広報の実施							
		協賛募集							
	全国都市緑化 かわさきフェア	協働推進・ボランティア募集等						取組の 継続・発展	
		市制100周年と連携した広報の実施				10～11月 かわさき フェア開催	3～4月 かわさき フェア開催		
		会場準備							
プレイベントの実施									
協賛募集									

川崎市市制100周年記念事業実施計画「Colors, Future! Actionsプラン」改定版

川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会事務局
(川崎市総務企画局シティプロモーション推進室内)
令和6(2024)年3月

電話：044-200-1216 / Eメール：17skinen@city.kawasaki.jp

【別紙】 事業一覧

令和6(2024)年度 川崎市主催事業

市制100周年記念事業 令和6(2024)年度に実施予定の市主催事業について

● 市主催事業 111事業

- ・ 基本的には、各局区が所管する既存の施策に取り組む中で、市制100周年を契機として、一步先を目指す+αのチャレンジを行うものです。
- ・ 記念事業のコンセプト等を踏まえ、多くの市民、企業、団体等が参加しながら「あたらしい川崎」を生み出し、未来につなげていけるよう、令和5(2023)年度において実施した、市制100周年・全国都市緑化かわさきフェアの機運醸成に向けたPRや、本番期間を見据えた準備・検討、プレイベントの実施状況を踏まえながら、各局区で効果的な記念事業を展開していきます。
- ・ 事業の実施にあたっては、時間軸や開催場所等を意識し、さまざまな取組と連携を図りながら一体的に進めていきます。
- ・ 市制100周年記念事業のロゴマークや15のActionテーマのラベルを用いた広報を行うとともに、市制100周年記念事業公式WEBサイトなどを通じて記念事業を効果的に情報発信するなど、統一感を持って取組を進めていきます。
- ・ 111事業(令和6(2024)年度予算案で新規・拡充とした事業)以外にも、記念事業の趣旨等を踏まえたさまざまな取組を、川崎市が主体となり進めていきます。

① 市制100周年を祝い、盛り上げるイベント開催などの取組 20事業

No	事業名	取組概要	実施時期	実施場所	局区
1	かわさきスペシャルサポーターとのコラボ事業	市制100周年を契機として、川崎への愛着・誇りの醸成、川崎の認知度やイメージ向上を図るため、令和5年度に実施した、若年層を中心とした市民等によるワークショップの結果等を踏まえながら、「SHISHAMO」や「sumika」などのスペシャルサポーターとのコラボ事業を実施します。	年間を通して	市内各所	総務企画局
2	「SDGsウィーク」を創設 集中的SDGsイベント	SDGsの意識の醸成を図るため、令和6年度に「SDGsウィーク」期間を設定し、期間内に、多くのSDGsパートナーとの連携によるSDGsイベントや普及啓発などの取組を集中的に展開します。	9月～11月 (2～4週間程度)	市内各所	総務企画局
3	「かわさき多摩川マラソン」の誰もが参加できる大会に向けた取組	子どもから大人まで幅広い世代が、障害のあるなしに関わらず、誰もが参加できる大会となるよう、車いすランや未就学児部門などを拡充して、「かわさき多摩川マラソン」を開催します。	11月	等々力緑地周辺	市民文化局
4	障害の有無等に関わらず、誰もがスポーツを楽しめるイベント	障害者や子どもなど誰もがスポーツを楽しめるまちづくりに向けて、ポッチャ大会の開催や、スポーツフェスタにおける多様なパラスポーツ体験ブースの設置などの取組を進めます。	10月	等々力緑地周辺など	市民文化局
5	川崎市映像アーカイブを活用し、川崎の過去・未来を考え「まちの記憶を共有財産」にする取組	市が保有する「市政ニュース映画」などの過去の記録映像を活用した上映会やワークショップなどを実施し、市制100周年を機に市の過去・未来を考え、映像を通して新たなつながりを作る機会を創出します(①)。また、市制90周年事業として当時10歳の小学生から募集した記録映像を「二十歳を祝うつどい」等で上映します(②)。	①年間を通して ②1月	①市内各所 ②とどろきアリーナ	市民文化局
6	NECレッドロケッツとの市制100周年連携事業	これまで川崎市をホームタウンとして活躍してきた「NECレッドロケッツ」とのコラボにより、ホームゲームにおけるさまざまな企画やSNSによる発信など、効果的な市制100周年のPRを実施します。	9月～3月 (開催期間に1試合)	とどろきアリーナ	市民文化局
7	川崎ブレイブサンダースとの市制100周年連携事業	これまで川崎市をホームタウンとして活躍してきた「川崎ブレイブサンダース」とのコラボにより、ホームゲームにおけるさまざまな企画やSNSでの発信など、効果的な市制100周年のPRを実施します。	9月～3月 (開催期間に1試合)	とどろきアリーナ	市民文化局
8	川崎フロンターレホームゲームでの「スポーツのまち・かわさき」「音楽のまち・かわさき」PRイベント	川崎フロンターレホームゲームと川崎が誇る多様なプレーヤーの連携により、川崎のスポーツや音楽などの魅力や価値に触れることができるイベントを実施します。	6月	等々力緑地周辺	市民文化局
9	市制100周年記念「川崎・しんゆり芸術祭(アルテリッカしんゆり)」	川崎・しんゆり芸術祭(アルテリッカしんゆり)において、「緑」をテーマとした公演や、緑地等での会場にあった手法でオープンエアコンサートを開催するなど、市制100周年及び全国都市緑化かわさきフェアのコンセプトに合う取組を実施します。	4月～5月	麻生区のホールや緑地等	市民文化局

No	事業名	取組概要	実施時期	実施場所	局区
10	市制100周年記念 生け花やフラワーデザインの展 覧会「花展」	市内文化関係団体が生け花やフラワーアレンジメントなどの作品を制作し展示する花展を開催し、伝統文化の継承や花を身近に感じる機会と合わせ、川崎の100年の歴史を振り返る映像を流すなど、伝統文化を感じながら歴史を学ぶ機会を提供します。	9月～11月頃	川崎駅周辺	市民文化局
11	市制100周年記念／国際交流セ ンター開設30周年記念「（仮 称）多文化共生フォーラム・コ ンサート」	国際交流・多文化共生の推進に向け、ステージや展示などを実施している「インターナショナル・フェスティバル in カワサキ」のプレイベントとして「（仮称）多文化共生フォーラム・コンサート」を実施し、市のこれまでの取組を振り返りながら、これからの多文化共生の地域づくりを考える機会を創出します。	7月6日 または 7日	国際交流センター	市民文化局
12	市制100周年・音楽のまち20周 年記念事業	市制100周年とともに20周年を迎える「音楽のまち・かわさき」を祝い、盛り上げ、次の100年につなげていくため、第10回目の開催となる「かわさきジャズ」を始め、多世代が楽しめる大合奏プロジェクト(①)や市民参加型で音楽を作るワークショップ(②)など、関連団体や市民とともにこの記念すべき1年にふさわしい事業を展開します。	①10月頃 ②年間を通して	①川崎駅周辺(検討中) ②市内全域	市民文化局
13	市制100周年記念 「市制記念多摩川花火大会」	市制100周年を記念し、花火の玉数を約10,000発に増やし、動画配信や市民参加型のプログラムなどの新たな取組を実施するなど、例年より内容を充実させた特別な大会として実施し、ふるさと川崎の更なる意識の高揚につなげます。	10月	多摩川河川敷	経済労働局
14	市制100周年記念 「第45回かわさき市民祭り」	市制100周年を記念し、全国都市緑化かわさきフェアの会場のひとつである富士見公園を会場とし、秋と春の全国都市緑化かわさきフェアをつなぎ、市制100周年を市民の皆さんと盛り上げるイベントとし、歴史ある市内最大級のお祭りを次の100年に向けて発展させていきます。	12月	富士見公園一帯	経済労働局
15	川崎国際環境技術展を核とした ビジネス創出支援事業	市制100周年の節目にふさわしい国際環境技術展とするため、開催意義である「ビジネスマッチング・交流を通じた環境ビジネスの創出」に、これからの100年に向けて求められる「国際協業」「次世代人材育成」「サプライチェーン連携強化」の要素を付加し、市内企業の持続可能な経営を促進します。	7～11月	市内各所	経済労働局
16	100周年記念・拡大版 「優しい木のひろば」	市制100周年の今回、全国都市緑化かわさきフェアと連携しながら、木材利用促進イベント「優しい木のひろば」の取組を拡大して各区において実施し、より木の良さや木材利用の意義を広く知っていただくための取組を進めます。	年間を通して	各区1か所	まちづくり局
17	市役所通りのライトアップ	市制100周年を契機として、全国都市緑化かわさきフェアや公共空間の活用等と連携しながら、市役所通りを再生可能エネルギーによりライトアップすることで、空間を高質化し、都市イメージの向上やシビックプライドの醸成につなげます。	10月完成	市役所通り	建設緑政局
18	「登戸の渡し」の復活イベント	古くから多摩川にあった渡し場の一つである「登戸の渡し」を、市制100周年を契機に市民協働で復活させ、他のイベントと連携しながら、多摩川の歴史文化を子どもたちに伝える取組を進めます。	10月頃	多摩川河川敷 (登戸駅周辺) など	建設緑政局
19	リアル謎解きイベント「謎走 中！」	市制100周年を契機として、市内の市民館・図書館が連携し、全市合同での謎解きイベントを企画から市民協働で実施し、謎の作成やイベントへの参加等を通じた地域愛の醸成や地域の中のつながりづくりの促進を図ります。	4月～11月	各市民館、生田緑地等	教育委員会事務局
20	市制100周年記念「(仮称)川崎 市議会議場コンサート」	市制100周年を記念し、新しい本庁舎に移転した議場を会場とするコンサートを開催し、市民が議場に足を運ぶきっかけを作るとともに、議会に対する関心を高める機会とすることで、市民に身近な開かれた議会の更なる推進を図ります。	7月以降	市議会議場	議会局

※このほか、社会人アメリカンフットボール協会（Xリーグ）との連携による市制100周年記念事業やインクルーシブ音楽プロジェクト、市制100周年を記念した夜市の開催など、市制100周年記念事業と連携した取組を実施します。

② 市制100周年を彩る、地域ごとの特徴ある取組 41事業

No	事業名	取組概要	実施時期	実施場所	局区
21	市制100周年記念 「住工共生に向けた工場見学」	高津区久地・宇名根や宮内・下野毛などの住宅と工場が混在する地域において、市制100周年を契機に、より一層地域住民のもののづくりへの理解を深めるため、官民連携で100周年を記念した市内の工場見学イベントなどの事業を実施することで、住工共生のまちづくりを推進します。	年間を通して	高津区久地・宇名根や宮内・下野毛などの、住宅と工場が混在する地域	経済労働局
22	市制100周年記念 市場活性化イベント	市制100周年を契機として、市場の活性化させるとともに、より一層市民に親しまれる市場となるよう、市場事業者と連携しながら朝市を開催し、飲食店等の関連事業者による市民向けのメニューや商品の販売などを実施し、市場への理解を醸成します。	10月～11月	北部市場内	経済労働局
23	清掃イベント等による若い世代 と連携したまち美化の推進	これからの100年を担う若年層がより地域の環境美化に関心を持ち、高齢化等で担い手不足が課題となる地域等（地域や企業、ボランティア活動団体等）と繋がり合い、将来に向けて美化活動に参加するきっかけとなる清掃イベント等を実施し、地域等と行政が連携しながら「ボイ捨てのない、きれいなまちづくり」を推進します。	年間2回（時期未定）	高津区溝口周辺 他1か所	環境局
24	川崎駅周辺における、地域資源 を活かした、誰もが笑顔で過ご せる都市空間の創出	実行委員会主催事業である「みんなの川崎祭」や他の100周年記念イベント等と連携しながら、川崎駅周辺における地域資源などを活かした、食・音楽・アート、スポーツ、モビリティ、新たな技術などを体験する場を創出し、まちづくりを担う人材発掘の契機とするとともに、持続可能で魅力的なまちづくりを推進します。	10月～11月	川崎駅周辺	まちづくり局
25	川崎駅周辺における、アートを 活用した地域活性化	市制100周年に合わせて令和5年度に実施したウォールアートをはじめとした、川崎駅周辺のアート資源を活用したイベント開催や情報発信など、アートを活用したまちづくりを展開し、更なる地域活性化を図ります。	7月頃	川崎駅周辺	まちづくり局
26	川崎駅周辺の多摩川のリバーサ イドゾーンの上質な空間化に向 けた取組	今後活用の幅が広がると想定される川崎駅周辺の多摩川リバーサイドゾーンを活用し、都市の中の自然と触れ合える貴重な公共空間として実験的にイベントを開催するとともに河川敷の環境美化を行うなど、上質な空間の創出に向けた取組を進めます。	10月～11月	多摩川河川敷 (川崎駅周辺)	まちづくり局
27	小杉駅周辺における、公共空間 を活用したにぎわい等の創出	市制100周年及び全国都市緑化かわさきフェアを契機として、多様な主体と連携し駅周辺の公共空間等を活用したイベント等を実施し、まちの一層の賑わい・交流の創出を図ります。	11月頃	小杉駅周辺	まちづくり局
28	鷺沼駅周辺における、多様な主 体と連携した公共空間づくり	鷺沼駅前の再開発事業の進捗を見据えながら、市制100周年のタイミングに合わせて、地域のさまざまな主体と連携しながら公共空間等を活用したイベントの規模等を拡大し、次の100年も継続可能なまちの賑わい創出を図ります。	10～11月をメインに 年間を通して	鷺沼駅周辺	まちづくり局

No	事業名	取組概要	実施時期	実施場所	局区
29	登戸駅周辺における、人やまち、自然をつなぐ公共空間づくり	登戸駅周辺の公共空間等を活用し、全国都市緑化かわさきフェアや他の100周年記念イベントと連携しながら、多様な主体と連携し、地域の文化、食や生田緑地などを身近に感じる機会を提供し、多くの人をまちに呼び込むとともに、人々の回遊性及びまちの価値の向上につなげます。	10月～11月	登戸駅周辺	まちづくり局
30	市制100周年記念「川崎みなと祭り」	川崎の次の100年に向けて、ドローンショー等を実施するとともに川崎みなと祭りに参加する船等が一齐に汽笛を吹鳴するセレモニーを開催することにより、川崎みなと祭りを訪れた市民の市制100周年に対する祝賀感を醸成するとともに更なるシビックプライドの醸成を図ります。	10月	川崎区東扇島	港湾局
31	多様性や多文化を体験するイベント	市制100周年を契機として、地域団体や関係団体等と連携し、多様性や多文化をスポーツやアートで体験できるイベントを実施し、相互理解の機会を創出します。	8月～10月頃	カルッツかわさき	川崎区役所
32	100人を超える市民の笑顔の写真展「未来につなごうかわさきそだち」	令和5年度に収集した、市民の、かわさきそだち（川崎産の花や野菜）を持った写真やメッセージを活用して動画やパネルを作成し、区内各所で放映・展示を行うことで、お祝いムードを演出するとともに、次の100年を考えるきっかけとなる取組を進めます。	パネル展示：10月19日 動画放映：8月以降	パネル展示：カルッツかわさき 動画放映：区内各所	川崎区役所
33	川崎区の花「ピオラ」を活用したフラワーアート	川崎区の花の一つであり、多様な色をもつピオラを活用し、地域住民等と協力し、稲毛公園においてフラワーアートを作成し、全国都市緑化かわさきフェアの秋開催期間中の展示を行います。	10月19日～11月17日（全国都市緑化かわさきフェア秋開催期間中）	稲毛公園	川崎区役所
34	東海道川崎宿の魅力を知る体験ツアー	東海道川崎宿400年の令和5年度に東海道沿道に設置した100基を超える中間灯をはじめとした東海道川崎宿の魅力を体験するツアーを実施し、川崎の新たな観光資源としてのPRをするとともに市民のシビックプライド醸成を図ります。	8月～12月頃	川崎駅周辺	川崎区役所
35	市制100周年記念「さいわいにぎわいフェス」	プレイベントとして実施した令和5年度の取組を踏まえ、川崎駅西口周辺の事業者や地元町内会、商店街等と連携し、事業者の施設や公開空地、公共空間などを活用しながら、子どもから大人まで多世代が楽しむことができるイベントを開催します。	9月～11月	川崎駅西口周辺	幸区役所
36	多様な主体との連携による花壇の整備や「花手水」等の活用	令和5年度の取組に加え、区内の町内会や商店街、企業、学生等と連携し、花壇の整備や川崎駅西口周辺等に「花手水」を設置するなど、緑化の取組を通じて地元への愛着をより醸成し、花や緑に包まれた、うるおいと緑あるまちづくりを推進します。	10月～11月	幸区内	幸区役所
37	絵本作家「かこさとし」さんの魅力発信	令和5年度の取組を踏まえながら、幸区内の学校や障害者施設等と連携したイベント等を開催し、幸区にゆかりのある絵本作家「かこさとし」さんが大切にしていた「個性」や「多様性」についての理解の定着化に向けた取組を進めます。	3月頃	古市場・鹿島田周辺	幸区役所
38	市制100周年記念パネルアート作品の作成	川崎市のブランドメッセージにもある「多様性」をテーマに、区民からメッセージを集め、集めたメッセージを活用して、地域団体や地元アーティスト等と連携しながら市民参加型アート作品の制作及び展示を行います。	4月～7月	中原区役所ほか	中原区役所
39	市制100周年記念中原区役所花壇の整備	区民と協働で管理している区役所敷地内花壇等を市制100周年記念パージョンに装飾し、花壇等を協働による交流の場とするとともに、緑化を推進します。	5月～11月	中原区役所ほか	中原区役所
40	市制100周年記念「なかはらコアまつり」	地域主体による区の魅力発信活動を推進し、区民の地元への愛着や関心を高めるため、武蔵小杉駅周辺の公共的空間を活用したイベント「川崎市市制100周年記念 なかはらコアまつり」を開催します。	7月～8月頃	こすぎコアパーク及びその周辺	中原区役所
41	溝口駅前キラリデッキのリニューアル	市制100周年を契機として 駅や周辺施設、脱炭素の取組等と調和を図りながらキラリデッキをリニューアルし、多くの区民にとって快適で使いやすい、区の玄関にふさわしい個性と魅力ある空間に再生します。	令和6年度中	溝口駅前キラリデッキ	高津区役所
42	古写真を使って高津区の地域の歴史を学ぶ企画	「高津ふるさとアーカイブ」で収集した古写真を活用しながら、市制100周年を機に地域の歴史資源に触れ、地域の歴史を振り返る企画として、謎解きイベントやガイドツアーを開催するなど、関心の高さに応じたイベントを実施し、ふるさと意識を醸成や地域への関心を高めます。	10～12月頃	久地円筒分水他区内各所	高津区役所
43	高津区民祭等民間イベントでの周知	令和5年度の取組を踏まえながら、高津区民祭（①）や溝口駅前キラリデッキイルミネーション（②）等集客の多い民間イベントを活用し、幅広い市民層への市制100周年の周知を図るデザインとするなど、地域への愛着を深める取組を進めます。	①7月 ②11月～1月	①区内大山街道 ②溝口駅前キラリデッキ	高津区役所
44	東名川崎IC周辺のみどりの景観づくり	市制100周年を契機に、美しいまちづくりによるシビックプライドの醸成がより一層進むよう、川崎の北の玄関口である東名川崎インターチェンジ前の花壇において、地域の町内会や子ども会などさまざまな団体と連携しながら、「100」にちなんだ花壇の整備や装飾等を実施します。	6月～11月	東名川崎IC前花壇	宮前区役所
45	宮前区の公共用地を活用した花壇づくり	公園などの公共用地の花壇に市制100周年の表示を実施するとともに、花苗の配布に係る説明会の開催と合わせて市制100周年を記念した講座や交流会を実施するなど、市制100周年や全国都市緑化かわさきフェアと連携しながら、緑化活動を通じた地域コミュニティの活性化を図ります。	8月～11月	宮前区内の公共用地花壇	宮前区役所
46	宮前区役所市民広場への100周年記念ベンチの設置	宮前区役所の市民広場において、地域の子どもたちや地元アーティストと一緒に、老朽化が進む既存のベンチをリニューアルし、記念ベンチとして設置し、市民の憩いの場に新しい価値を創造し地域への愛着心を醸成します。	4月～10月	宮前区役所市民広場	宮前区役所
47	宮前区のみどりの散歩コースのリニューアル	市制100周年を契機に、これまで関係団体とともに作成してきた豊かな自然や名所などを巡る散歩コースを再編成し、かわさきイベントアプリで公開するなど、みどりや地元に対する愛着心や健康寿命の延伸を図ります。	年間を通して	主に宮前区内	宮前区役所
48	市制100周年記念「多摩区スポーツフェスタ」	市制100周年を記念して、「多摩区スポーツフェスタ」を多摩スポーツセンター、Anker フロントタウン生田の2か所で開催し、川崎フロンターレ等のかわさきスポーツパートナーと連携した多世代が楽しめる取組、パラスポーツ体験、トップアスリートとの交流などを実施します。	10月	多摩スポーツセンター Anker フロントタウン生田	多摩区役所
49	まち歩き謎解きゲーム「SHIGENARI特別編」	源頼朝の重臣「稲毛三郎重成」を題材にしたまち歩き謎解きゲーム「SHIGENARI」を市制100周年の特別編として実施し、イベントに参加しながら多摩区の魅力や川崎市の100年の歩みに触れることで、参加者の区及び市の知識を深め、魅力を再発見してもらう取組を実施します。	11月	多摩区内	多摩区役所
50	生田地区における100周年記念植樹	令和6年度に地域利用を開始する生田出張所新広場において、市制100周年を記念した植樹を行い、協働による維持管理や広場活用を促し、地域コミュニティ拠点の形成を図ります。	10～11月	生田出張所新広場	多摩区役所
51	麻生区グリーンツーリズム	市制100周年を契機に、麻生区の貴重な農業資源や環境資源を活用した体験イベント等を実施することで、市内外へのPRを行い、地域の魅力を知ることによって地域への関心を高め、都市農業の振興や地域活性化を図ります。	5月～12月	麻生区内	麻生区役所

No	事業名	取組概要	実施時期	実施場所	局区
52	麻生区の境界を活かしたトレイルスタンプラリーイベント	令和5年度に実施した「あさお境界トレイルハイク」の結果を踏まえ、麻生区の境界に沿ってウォーキングしながら、スタンプラリー形式で区を一周するなど、区の環境や街の歴史・発展を感じつつ、歴史を振り返りながら、ハイキング等を楽しむことができる取組を進めます。	2月下旬～3月初旬	麻生区内	麻生区役所
53	麻生区の史跡を巡るウォーキングイベント	市民協働の「歩け歩け運動」と連携し、史跡やまちの成り立ち、100年の歴史を振り返りながら、区内各所を巡るウォーキングを、令和5年度の取組を踏まえて拡大実施するなど、地元への愛着等を深めながら、健康づくりにつながる取組を進めます。	6月～11月	麻生区内	麻生区役所
54	市制100周年記念「あさお花いっぱい推進事業」	公園などの公共用地の花壇を管理している地域団体と区内を花で飾る取組を実施するとともに、市制100周年・全国都市緑化かわさきフェアをPRしながら、次の100年に向けて麻生区の美しい景観の維持を目指します。	10月～12月	麻生区内	麻生区役所
55	市制100周年記念「なつやすみ野外上映会」	市制100周年を記念し、夏休みの夜の校庭で川崎ゆかりの映画の上映や、上映とあわせた市制100周年を記念した企画の実施など、市制100周年を盛り上げ、区民の芸術・文化のまちづくりへの理解と共感を高めるイベントを実施します。	8月下旬	麻生区内学校校庭	麻生区役所
56	子どもたちと一緒に花を育てる取組	小学生と地域の方が一緒に花を植え、育てる取組を実施し、子どもたちが花植えを通してみどりや地域に親しむ機会を創出します。	10月～3月	麻生区内	麻生区役所
57	麻生区における川崎をもっと知って、関わって、好きになるイベント	麻生区に関わる行政・市民・企業などの協働により、美化・植栽活動や絵画展などのイベントを実施することで、市制100周年を市民全体で祝う機運を高めるとともに、身近なコミュニティの形成、地域への愛着の醸成を図ります。	年間を通して	麻生区内	麻生区役所
58	市制100周年記念「芸術・文化魅力発信事業」	市制100周年を盛り上げるため、麻生区の豊富な芸術・文化に関連する地域資源を活用し、さまざまな団体と連携しながら、市制100周年を記念したイベントを開催するなど、地域の魅力を高め、地域への愛着を深めるとともに、更なる芸術・文化のまちづくりの推進を図ります。	10月～3月	麻生区内	麻生区役所
59	橋樹官街遺跡群保存活用事業 歴史公園オープン記念式典	古代の川崎市役所である「橋樹官街遺跡群」内に整備した歴史公園のオープン記念式典の中で、「雅楽」の実演を通して古代の川崎を体感する機会を設けるなど、次の100年に残る史跡となるよう、郷土への関心・愛着を醸成を図ります。	5月	橋樹官街遺跡群整備事業地（高津区千年423-1ほか）	教育委員会事務局
60	100周年記念伝統芸能公演	市制100周年を記念し、隔年で実施している通常の「農村歌舞伎」では使わない「回り舞台」を使用した大掛かりな公演を行い、文化財の古民家や伝統芸能など、川崎で100年単位で引き継がれているものの良さを感じてもらうことで、シビックプライドの醸成を図ります。	11月	日本民家園	教育委員会事務局
61	日本民家園における桜の植樹	日本民家園において、100周年を契機にソメイヨシノを植樹し、多くの人々が来園する桜の時期に古民家を楽しめる環境を作ること、川崎の魅力を向上し、シビックプライドの醸成を図ります。	2月	日本民家園	教育委員会事務局

※このほか、緑ヶ丘霊園におけるレインガーデンの整備や井田病院における市制100周年記念コンサートなど、市制100周年記念事業と連携した取組を実施します。

③ これからの100年を担う若年層への取組 23事業

No	事業名	取組概要	実施時期	実施場所	局区
62	プレイキンの聖地「Kawasaki」を盛り上げる取組	次の100年に向けて、本市で盛んであるストリートカルチャーなどの若者文化を盛り上げ、「若者が挑戦できるまち」としていくため、プレイキンの世界大会や国内予選などの誘致や、その開催の支援を行います。	年間を通して	市内各所	市民文化局
63	新たな若者文化(ダブルダッチ&シングルロープ)のシーンを創出	次の100年に向けて、本市で盛んであるストリートカルチャーなどの若者文化を盛り上げ、「若者が挑戦できるまち」としていくため、ダブルダッチをはじめとするジャンプロープの大会誘致や、その機運醸成に向けた体験会などを実施します。	年間を通して	市内各所	市民文化局
64	若者文化を加速させる世界レベルのストリートの祭典	市制100周年を機に、更に川崎の若者文化を発信し活力あるまちとしていくため、世界レベルのストリートの祭典「①International Street Festival KAWASAKI」やダンスコンテスト「②LeFRONT杯」について、エリアやプログラムなどを拡大しながら開催します。	①11月 ②未定	①ラゾーナ川崎周辺 及び ラッチタデッラ ②川崎ルフロン周辺	市民文化局
65	若者文化を加速させるミューラルアート	誰もが気軽に若者文化に触れられる環境を目指し、川崎駅周辺で醸成されてきたアート資源を活かしながら、川崎駅周辺において、東京電力地上用機器にミューラルアートを実施します。	10月完成	川崎駅周辺	市民文化局
66	アントレプレナーシップを育成する次世代産業人材育成プログラム	市制100周年を契機に、次世代産業の人材育成を目的としたプログラムを拡大し、これからの川崎を担う高校生等を対象に、アントレプレナーシップを育む原体験となる講座や、科学技術を活用して社会課題の解決に挑戦するプログラムを、市内企業と連携して実施します。	年間を通して	かわさき新産業創造センターほか	経済労働局
67	美味しく郷土の味を知り、歴史と食を学ぶ取組	公立保育所において、川崎の伝統的な郷土料理のアレンジレシピを考案し、紙芝居などで「食」を楽しみながらまちの歴史を学ぶことで、まちに対する興味・関心を深める機会を提供するとともに、レシピ本を制作するなど子育て世帯に役立つ情報を広める取組を実施します。	年間を通して	市内保育所等	こども未来局
68	園児・小学生向けのポッチャ大会	バラスポーツであるポッチャについて、子どもを中心とした交流会を開催し、川崎市長杯ポッチャ大会と連携しながら、100周年を契機に誰もが活躍できるという経験やチームで取り組む楽しさ等を知ってもらう機会を創出します。	年間を通して	市内保育所等	こども未来局
69	園児と身近な「100」を探し、まちを知る取組	保育園児がまちの中にある身近な“100”にまつわるものを発見したり、まちの歴史や昔の知恵と工夫を学んだりする機会等を提供するとともに、取組内容を事例集にとりまとめて市内に展開するなど、子どもたちのシビックプライドの醸成を図ります。	年間を通して	市内保育所等	こども未来局
70	子育て関連のさまざまな空間におけるみどりとつながりづくり	100年先の未来に向けて、地域の中で大人と子どもがともにみどりを育むことで、いつもの身近な場所が“お気に入りの場所”になるよう、令和5年度の取組を踏まえつつ全国都市緑化かわさきフェアと連携した取組を進めます。	年間を通して	市内保育所等	こども未来局
71	子どもたちが考える未来のかわさをデザイン	誰もがおいいを尊重できる100年先の未来の実現に向けて、令和5年度から始めた、子どもたちの「こんなまちになったらいいな」というアイデアをみんなで話し合いを継続し、引き続きその具現化に向けた取組を進めます。	年間を通して	市内保育所等	こども未来局

No	事業名	取組概要	実施時期	実施場所	局区
72	持続可能な社会に向けた廃材を使用しておもちゃ作り	使われなくなった身近にあるものを材料にしたおもちゃ作りなどの体験型のイベントを通して、SDGsやエコロジーへの意識を高め、100年先の未来のために、環境への意識を高める取組を進めます。	7月～11月	市内保育所等	こども未来局
73	「うんこドリル」で子どもの権利を学ぶ取組	子どもの権利に関する条例を全国で初めて制定した本市が、令和5年度に子どもたちを中心としたワークショップ等を通じて作成した子どもの権利に関する教材を活用し、子どもの権利に関するワークショップを開催するなど、次の100年、更に子どもの権利が認知され大切にされることを目指します。	年間を通して	市内各所	こども未来局
74	市制記念日におけるこども文化センター及びわくわくプラザでのイベント等の実施	市制記念日である7月1日に、市内58箇所のこども文化センターと114箇所のわくわくプラザの全館・全室で、普段とは違った子どもたちの記憶に残る100周年を祝うイベント等を実施します。	7月1日	全こども文化センター及びわくわくプラザ	こども未来局
75	高校生向け道路の役割や歴史を学び、将来像を考える機会の提供	市制100周年を契機として、道路行政や今後のまちづくりへの理解の促進を図るため、次世代を担う高校生を対象に、道路の役割や歴史、本市の取組などを学び、将来像を考える機会を提供します。	年間を通して	市立高校	建設緑政局
76	川崎マリエン・中公園植樹プロジェクト	市制100周年を機に、川崎マリエンと中公園に社会科見学で訪れる市内小学校3年生に海辺の木や花を植えてもらう取組を実施し、市制100周年の記憶を形として残すとともに、川崎マリエンと中公園を花咲く公園として川崎港の魅力を創出します。	年間を通して	川崎区東扇島	港湾局
77	中高生向け港の仕事体験プログラム	次の100年を担う中高生に向け、令和5年度に作成した港湾の仕事に関するデジタルコンテンツを活用するとともに、港湾物流に携わる企業と連携して仕事体験会を実施し、未来の港湾物流の担い手の確保につながる取組を進めます。	年間を通して	川崎港	港湾局
78	市制100周年記念・川崎臨海部の未来を考えるシンポジウム	次の100年に向けて変革を進める川崎臨海部への理解を深める機会を創出するため、①市民公開講座や②市立高校の研究グループによるSDGs等をテーマとした自主研究発表や有識者による講演等を行うシンポジウムを開催します。	①6月 ②1月16日	①川崎市コンベンションホール ②カルッツかわさき	臨海部国際戦略本部
79	施設見学・体験イベント「川崎臨海部OPEN DAY（ラボ＆ファクトリー）」	川崎の未来を担う中高生が「ものづくりや科学の楽しさ・面白さ」「川崎臨海部が作り出す未来」を体験する機会を創出するため、高度な産業が集積する川崎臨海部の企業等と連携し、事業所・工場や研究機関の施設見学・体験を行うイベントを開催します。	10月～3月頃	臨海部企業の事業所・工場・研究機関	臨海部国際戦略本部
80	学校e～ね★サミット	全市立学校の子どもたちがブランドメッセージに込められた意義を学び、キャリア在り方生き方教育の視点の一つである「わたしたちのまち川崎」の取組の充実を図ります。自分たちの学校や地域の様々な特色を学校ごとにスライドにまとめ、各学校の取組を全学校で共有し（①）、地域との交流や代表校による発表会の開催（②）などを実施します。取組を通して、子どもたちが様々な「かわさき」を知り、興味をもって関わることで、シビックプライドの醸成を図ります。	①年間を通して ②10月	①各学校 ②グランツリー武蔵小杉	教育委員会事務局
81	放課後等の時間を活用した多様な体験・経験ができる環境づくり「カラフルタイム★プロジェクト」	令和5年度の取組を踏まえ、放課後等の時間を活用し、子どもの“やりたい”をベースとした体験イベント等をきっかけに、新たな地域人材の発掘及び育成に取り組むとともに、次の100年を担う子どもたちを見守り・支える地域人材があらゆる地域で増えるよう、好事例の横展開を図ります。	年間を通して	富士見中学校区地域教育会議管轄内の学校ほか	教育委員会事務局
82	学校給食を通じたSDGs学習	市制100周年を契機に、なら茶めしや多摩川なしのゼリーなどの川崎にゆかりのある献立を提供するなど、持続可能な社会に向けた地産地消などのSDGsの取組を学ぶ場を提供します。	年間を通して	市立学校	教育委員会事務局
83	市制100周年かわさきGIGAフェスティバル	令和4年度から開催している「かわさきGIGAフェスティバル」の市制100周年記念大会として、GIGA端末を利用した「検索クイズ」や「タイピングコンテスト」において、児童生徒が100年間を振り返る問題に挑戦するとともに、ICT関連企業の方々からの講演を聴講することにより、未来の川崎市を創る児童生徒を育成します。	11月	NEC玉川ルネッサンスシティホール等	教育委員会事務局
84	市制100周年記念「(仮称)かわさき市議会ガイドブック」	市制100周年を機に、未来を担う子どもたちに、市議会や市政についてより詳しく、楽しく知ってもらえるよう、中学生向けのデジタル副読本を作成し、市ホームページで公開します。	7月以降	インターネット上	議会局

※このほか、川崎病院における子どもたちの医療現場体験や学校における市制100周年に関連する学習の実施など、市制100周年記念事業と連携した取組を実施します。

④ 市制100周年のPR及びさまざまな取組 27事業

No	事業名	取組概要	実施時期	実施場所	局区
85	画像のオープンデータ公開	シビックプライドの醸成や都市イメージの向上を図るため、令和5年度に整理した市内の魅力スポット等の画像データをオープンデータとしてインターネット上に公開し、誰もが自由に活用できるようにすることで、川崎市の魅力を発信します。	6月	インターネット上	総務企画局
86	市制100周年記念展	市制100周年を契機に文化芸術をより一層身近に感じていただくため、川崎ゆかりのアーティストによる企画展や、まちなかにおける展示、川崎の歴史を掘り下げる企画展などを実施します。	年間を通して	アートガーデンかわさき、川崎駅周辺の街頭、東海道かわさき宿交流館等	市民文化局
87	100人100通りのほっこりポスター	市制100周年を契機として、市内全体のムードをより「つながり志向」「支えあい志向」に変えていくため、つながりや支えあいの大切さを感じられる100人100通りのポスターを作成し、さまざまな場所への掲出及びSNS等での広報を展開します。	年間を通して	市内各所	市民文化局
88	川崎大空襲や戦時下のモノクロ写真のカラー化	市制100周年を機に、川崎の過去・現在・未来の平和を考える機会とするため、川崎大空襲や戦時下の生活を写したモノクロ写真をカラー化し、平和館における「川崎大空襲記録展」に展示するなど、次の100年の恒久平和に資する戦争の記憶の継承の取組を実施します。	3月	平和館	市民文化局
89	サステナブルツーリズム事業	持続可能な社会の実現のための自然環境や地産地消の重要性を学ぶことができる体験型コンテンツとして、市内の緑地や観光農園等を巡り、市内産農産物に触れる地産地消を体験するなど、サステナブルをテーマとした観光ツアーを、レストランパス等と連携しながら実証事業として実施します。	9月～12月	市内の緑地や観光農園など	経済労働局
90	高齢者や障害者、福祉現場のスタッフや企業が共につくる福祉製品の開発	社会的バリアの解消に向けた意識の共有をめざすため、市制100周年を契機に福祉現場の課題・ニーズから収集したアイデアをもとに、福祉施設職員や有識者と連携しながら、高齢者や障害者が求める福祉製品の開発の促進に取り組めます。	年間を通して	ウェルテック他	経済労働局

No	事業名	取組概要	実施時期	実施場所	局区
91	「かわさきマイスター」による市制100周年を記念した特別な製品・作品の制作	市内最高峰の匠である「かわさきマイスター」などの高度な技術を活かしながら、市制100周年に相応しいテーマで製品を作成し、技術の継承や後継者の育成につなげます。	2月頃完成	川崎市内	経済労働局
92	SDGs栽培体験	市民と連携した栽培体験(①)や農機展示(②)等を通じて、「のらぼう菜」などの古くから伝わる郷土野菜を次世代に継承するとともに、持続可能な農業を学び、SDGsへの理解向上を図る取組を進めます。	①年間を通して ②年間を通して	①市内各所 ②農業技術支援センター	経済労働局
93	市制100周年記念事業や全国都市緑化かわさきフェアと連携したプラスチック循環	市制100周年を契機とした市民・事業者のプラスチック循環ムーブメントを創出するため、市内で回収したプラスチックを100周年を記念した製品にするなどの取組を実施します。	年間を通して	市内各所	環境局
94	川崎の発展と環境の歴史を振り返り未来を考える企画展	令和5年度の取組を踏まえながら、これまでの環境関連の記録写真等とりまとめてデジタルアーカイブ化する(①)とともに、川崎の発展と環境の歴史を振り返り、未来を考える企画展やワークショップを開催(②)します。	①12月～3月完成 ②7月～3月	①インターネット上 ②市内各所	環境局
95	生物多様性への意識を醸成する、アプリで生き物探し	手軽に生き物の写真を投稿できるスマホアプリを活用し、市民投稿を募集する取組を全国都市緑化かわさきフェアの開催と連携しながら実施するなど、身近な自然に目を向け、「生物多様性」や「みどり」の大切さを実感してもらう機会を創出します。	10月19日～11月17日 3月22日～4月13日 (全国都市緑化かわさきフェア開催期間中)	市内各所	環境局
96	ごみ収集車を活用した市制100周年の機運醸成	これからの100年を担う子どもたちを対象に「3R等のポスターコンクール」を実施し、優秀作品はごみ収集車にラッピングを行うなど、市制100周年の機運を高めるとともに、脱炭素の取組やごみの減量化・資源化の意識醸成を図ります。	年間を通して	市内各所	環境局
97	ウォーキングアプリ「かわさきTEKTEK」を活用した、川崎を好きになるイベント	ウォーキングアプリ「かわさきTEKTEK」の機能を活用し、市の魅力ある資源である店舗等の利用に関するスタンプラリーを実施することで、川崎の魅力発見と健康づくりを進めます。	7月以降	市内各所	健康福祉局
98	人生100年時代に備える地ケアフェア	令和5年度の取組結果を踏まえながら、地ケア連絡協議会に参画する100を超える団体等と連携し、福祉サービスの展示や体験会など、地域包括ケアシステム構築に向けた取組を市民が共有できる機会を提供し、人生100年時代に向けて、誰もが安心して暮らしていることができる社会の実現に向けた機運の醸成等を更に後押しします。	10月以降	川崎市内	健康福祉局
99	「100年続く人と動物のきずなプロジェクト」	100周年を契機に、動物愛護の精神やボランティア等の取組を、「100」をキーワードにしながら市民が知り・体験する機会を提供し、人と動物の共生する社会の実現に向けた取組を進めます。	年間を通して	市内各所	健康福祉局
100	多様な主体の連携による公共建築の魅力発信	市制100周年を契機に、建築に関わる団体・学生・行政等が丸となり公共建築への親しみや愛着を育むイベント等を実施し、建築業界の活性化を図ることで、これからの100年を創造する新たな担い手を発掘し、公共建築の持続的な発展を目指します。	9月～12月	市内各所	まちづくり局
101	景観まちづくり意識動画作成	未来に残したい風景を一般募集し、市の個性と魅力あふれる良好な景観を紹介する100周年版の動画を作成・公開することで、市内各所の良好な景観を残し、次の100年に向けて景観意識の向上を図ります。	3月完成	インターネット上やデジタルサイネージ等	まちづくり局
102	みどりと魅力があふれる散歩道の更なる活用	全国都市緑化かわさきフェアの開催を契機に、さらにみどりへの関心を深めていただくため、ガイドマップ「川崎散歩ゆるり旅」で紹介している散歩道を、「かわさきTEKTEK」のウォーキングコースとして追加するとともに、協働花壇のリニューアルを実施します。	年間を通して	麻生区など(調整中)	建設緑政局
103	夢見ヶ崎動物公園における命の大切さを学ぶ場づくり	多世代への夢見ヶ崎動物公園の魅力発信に向け、令和5年度に市民協働で作成した展示動物や飼育・保護業務などに関する映像の発信や、令和6年度に完成するパークセンターの記録映像づくりなど、今後の100年も命の大切さを伝える取組を進めます。	年間を通して	夢見ヶ崎動物公園	建設緑政局
104	「100年先も持続可能な生田緑地の里山づくり」PR動画	本市最大の緑の拠点である生田緑地において、令和5年度に作成した「100年先も持続可能な生田緑地の里山づくり」PR動画をさまざまな場所で放映するとともに、撮影動画を再構成したアーカイブ映像を作成するなど、持続可能な里山づくりに対する市民意識の醸成を図ります。	年間を通して	生田緑地	建設緑政局
105	ニヶ領用水に親しむ機会の創出	次の100年もニヶ領用水の歴史を継承し誰もが心安らげる空間となるよう、地域の既存団体や大学生等と連携しながら、ニヶ領用水に関連したイベント等を実施するとともに、ニヶ領用水の歴史に触れる機会を創出します。	9月～11月	ニヶ領用水	建設緑政局
106	川崎臨海部プロモーション	大規模土地利用転換や2050年カーボンニュートラル化など、次の100年を切り拓く大きなプロジェクトを推進するにあたり、臨海部に関する市民の理解を深めるためのPRコンテンツを作成し、効果的なプロモーションを実施します。	年間を通して	インターネット上	臨海部国際戦略本部
107	交通事業80周年記念事業と連携した「全国都市緑化かわさきフェア会場周遊型謎解きイベント」	市制100周年の象徴的の事業として開催される全国都市緑化かわさきフェア期間中に、フェア会場周遊型謎解きイベントを実施し、市バスの利用や緑化フェアへの参加を促します。	10月19日～11月17日 ※春開催は未定 (全国都市緑化かわさきフェア開催期間中)	全国都市緑化かわさきフェアコア会場周辺	交通局
108	井田病院における「フラワーヒルプロジェクト」	令和5年度の芝生エリアの歩道にボランティアが育成した花壇を複数設置した取組を踏まえ、令和6年度は外来エリアの道路に面した窓にミニグリーンカーテンを設置し、空調の効率化によるCO2削減を図るとともに、継続して花を育てる文化を残す取組を実施します。	令和6年度中	市立井田病院	病院局
109	廃棄予定の防火衣等の再生	令和5年度の取組を踏まえながら、全国都市緑化かわさきフェアの開催を見据え、使用出来なくなった防火衣や消防ホース等を園芸用エプロン等へと加工し、市内イベント、展示等に活用し、火災予防意識の向上を図ります。	4月～7月	市内各イベント会場等	消防局
110	手づくり絵本の作品展	令和5年度の絵本づくり講座の開催成果等を踏まえながら、市民を対象に手づくりの絵本作品を募集し、市民館等で作品を展示するとともに、一部作品については図書館のデジタル資料として公開するなど、展示や活用を通じて絵本や市民館・図書館、題材となった地域等への愛着を深めるきっかけとなる取組を進めます。	年間を通して	各市民館・各図書館等	教育委員会事務局
111	川崎ゆかりの作品 あなたの「イチ押し本」募集	市民や図書館利用者等から川崎市にゆかりのある本を募集の上、100年後に残し伝えたい作品のリストを作成し、図書館等における展示やさまざまなイベント開催の際の活用を行うなど、市民の郷土愛が高まるような取組を実施します。	年間を通して	各図書館・各市民館等	教育委員会事務局

※このほか、市のさまざまなポスターやチラシ、封筒などにおいて100周年のPRを実施するなど、市制100周年記念事業と連携した取組を実施します。